

平成24年第3回教育委員会臨時会日程

日 時 平成24年3月13日(火)

午後3時00分

場 所 北栄町役場大栄庁舎第4会議室

1 開 会

2 会議録署名委員の指名

3 議 案

議案第17号 平成23年度末教職員人事異動内申について

議案第18号 平成23年度教育委員会の事務及び執行状況等に関する
報告書について

議案第19号 区域外就学について

4 協議事項

- ・中央公民館大栄文館指定管理者の自己評価について・・・資料1
- ・社会体育施設指定管理者の自己評価について・・・資料2

5 報告事項

- ・平成24年3月北栄町議会定例会一般質問について・・・資料3

6 その他

- ・次回教育委員会 臨時会 3月22日(木)午後4時00分から
定例会 3月29日(木)午後1時30分から

7 閉 会

議案第17号

平成23年度末教職員人事異動内申について

平成23年度末教職員人事異動内申を別紙のとおり行いたいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第23条の規定により委員会の同意を求める。

平成24年3月13日提出

北栄町教育委員会教育長 岩垣 博士

記

別紙のとおり

議案第18号

平成23年度教育委員会の事務及び執行状況等に関する報告書
について

平成23年度教育委員会の事務及び執行状況等に関する報告書を次のとおり
北栄町議会へ提出したいので、北栄町教育長に対する事務委任規則（平成17
年教育委員会規則第5号）第2条の規定により委員会の同意を求める。

平成24年3月15日提出

北栄町教育委員会教育長 岩垣 博士

記

別紙のとおり

議案第19号

区域外就学について

から児童の区域外就学に係る申し立てがなされたので、北栄町立小学校及び中学校の校区に関する規則第5条により委員会の承認を求める。

平成24年3月13日提出

北栄町教育委員会教育長 岩垣 博士

記

1 区域外就学申立児童名

住 所

氏 名

2 保護者

3 区域外就学申立学校名

4 指定学校名

5 区域外就学期間

平成24年3月7日から平成24年3月31日まで

6 理 由

4 協議事項

- ・中央公民館大栄文館指定管理者の自己評価について

・・・資料1のとおり

- ・社会体育施設指定管理者の自己評価について

・・・資料2のとおり

議案第 17 号資料

平成 23 年度末

教職員人事異動一覽表

平成 24 年 3 月 26 日

鳥取県教育委員会 様

鳥取県東伯郡北栄町教育委員会

平成23年度末教職員人事異動内申書

転出の部					転入の部				
現任校名	職名	氏名	転出先学校名	職名	新任校名	職名	氏名	前任校学校名	職名
北条小	教頭	富山 秀敏	浦安小	教頭	北条小	教頭	岡本 雅子	県教委	指導主事
〃	教諭	石賀 倫子	知事部局	副主幹	〃	教諭	定常喜美子	西郷小	教諭
〃	〃	中本 祐二	船上山少年自然の家	専門指導員	〃	〃	笠見 知枝	明倫小	〃
					〃	養護教諭	塚根 淳子	灘手小	養護教諭

平成24年3月26日

鳥取県教育委員会 様

鳥取県東伯郡北栄町教育委員会

平成23年度末教職員人事異動内申書

転出の部					転入の部				
現任校名	職名	氏名	転出先学校名	職名	新任校名	職名	氏名	前任校学校名	職名
大栄小	教諭	大平 智章	八橋小	教諭	大栄小	教諭	矢田美恵子	西小	教諭
〃	〃	東谷 睦美	西小	教諭	〃	〃	三好 春絵	小鴨小	〃
〃	養護教諭	山田 栄子	河北小	養護教諭	〃	〃	徳本 泰一	赤碕小	〃
〃	事務主幹	池信 純子	岸本中	事務主幹	〃	〃	山下 洋美	研修復帰	〃
					〃	養護教諭	永代 綾子	羽合小	養護教諭
					〃	事務主幹	川本 陽子	久米中	事務主幹

平成 24 年 3 月 26 日

鳥取県教育委員会 様

鳥取県東伯郡北栄町教育委員会

平成23年度末教職員人事異動内申書

転出の部					転入の部				
現任校名	職名	氏名	転出先学校名	職名	新任校名	職名	氏名	前任校学校名	職名
北条中	教諭	豊岡 克芳	久米中	教諭	北条中	教諭	松本 昭範	赤碕中	教諭
〃	〃	眞山 隆博	県教委	指導主事	〃	〃	小松 和栄	北浜中	〃
〃	〃	佐竹 純	名和中	教諭	〃	〃	吉田 央	東伯中	〃

平成 24 年 3 月 26 日

鳥取県教育委員会 様

鳥取県東伯郡北栄町教育委員会

平成23年度末教職員人事異動内申書

転出の部					転入の部				
現任校名	職名	氏名	転出先学校名	職名	新任校名	職名	氏名	前任校学校名	職名
大栄中	教諭	片上 浩之	倉吉東中	教諭	大栄中	教諭	武田 基資	県教委	指導主事
〃	〃	梅原 憲和	東郷中	〃	〃	〃	長見 圭司	県教委	〃
					〃	〃	栗原 紀子	三朝中	〃
					〃	〃	六尾 文憲	久米中	〃
					〃	養護教諭	杉本真由美	逢坂小	養護教諭

資料 1

平成 23 年度

北栄町教育委員会の事務に関する外部評価報告書

* 3/13 現在 素案

北栄町教育行政評価委員会

はじめに

この報告書は、北栄町教育行政点検評価委員会による平成 23 年度北栄町教育委員会の事務に関する点検及び評価である。この評価及び点検は、平成 19 年に改正された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の第 27 条の 2 項に基づき北栄町で平成 21 年度から行われている。

北栄町は平成 17 年 10 月に二つの町が合併し、平成 19 年 7 月には北栄町教育委員会が「北栄町教育ビジョン～子どもから高齢者まで 学びを通して夢を実現する」を制定した。

上記の法律改正に基づき、まず平成 20 年度以降には北栄町教育委員会内部による点検及び評価が実施された。これは町のビジョンの二つの基本目標である、「豊かな自然と優しい地域の中で、子どもがすくすくと育つ環境づくり」と「町民みんなが、人権を尊重して仲よく暮らせ、楽しく学び、夢が実現できる環境づくり」がそれぞれ 4 つと 2 つの施策の柱から構成されており、平成 23 年度については、その 6 つの施策の柱「1. 乳幼児が安心して、すくすく育つ家庭」、「2. 地域での活動や地域人材の活用で、町の自然や歴史、文化、人を学び、町に愛着を持つ子ども」、「3. 仲よく遊び、学び、他人の気持ちを思いやる心根を持つ子ども」、「4. 子どもが意欲を持っていきいき学び、基礎・基本を身につける学校教育」、「5. 人権を尊重する気運が社会に根付き、豊かな人間性や社会性を身につけた人があふれる町」、「6. 学習やスポーツに積極的に参加し、文化や芸術に親しみ、心身ともに健康で、自らの夢を実現させる人があふれる町」を推進するための事業について、それぞれ A, B, C, D, E の 5 段階で評価された。ほとんどの事業計画は C とされ、全体としても指標通り達成できたと評価された。

平成 20 年度の内部評価以降、北栄町教育行政点検評価委員会による外部評価を平成 21 年度の 3 回に続き、平成 22 年度に 3 回、平成 23 年度にも 3 回実施した。当委員会では、平成 23 年度に評価対象事業として、従来実施してきた、隔年では全事業の半分を評価していた方法を改め、全 43 事業の評価を行った。

評価基準は、平成 21 年度と変わらず次の 5 つ「事業が継続的なものであったか」、「対象をできるだけ広くとらえていたか」、「参加者は事業に満足できたか」、「事業実施の予算的裏付けがあったか」、「当該事業がビジョン実現に貢献したか」とした。

尺度については、平成 21 年度では内部評価と同じ 3 段階（A＝目標以上に達成できた、B＝目標通り達成できた、C＝ほとんど、全く達成できない）とした。しかし、平成 22 年度はさらに細かく評価するために 5 段階（A＝目標を大幅に達成できた、B＝目標をいく

らか超えて達成できた、C＝目標どおり達成できた、D＝目標を一部達成できなかった、E＝ほぼ全く達成できなかった)に変更した。平成23年度も前年度と同様とした。

これらに基づき全43の個別の事業を評価した。「同日参加日の実施」、「中学校での心の教室相談事業の実施」、「要保護児童対策地域協議会」、「少人数学級の推進」、「ICT教育活動支援員の配置」、「小中学生の地区学習会の開催」、及び「指定管理者まちづくりネットによる大栄分館の管理及び各種事業の実施」の7事業は総合評価でBとし、「家庭教育12カ条の推進事業」、「職場体験学習(ワクワク)」、「ドリームプロジェクトX(北条小・中)」、「社会教育講演会の実施(宝くじ文化講演)」、「『読み語るふるさとの偉人達』事業」及び「人権同和教育小地域懇談会の開催」の6事業はDとし、「ディスカバー北栄2011(ボランティアで守る町内文化遺産)」及び「生涯学習推進講演会の開催」の2事業はEとした。他の28事業の総合評価はCとした。評価点検のプロセスで、委員からは様々な質問や意見、具体的な改善案も提案され、これらに対して詳細な回答等もされた。この度、全事業が2度目の外部評価となったが、当初事業の実施ができないものと、実施したがその効果に疑問が残る事業に、はじめてE評価が付いた。今後は、個々の事業単位のみならず、更に上位の事業計画レベルでの評価も必要と思われる。

北栄町教育行政評価委員会 会長 野津 伸治
委員 山田 真由美
委員 竹信 啓子

平成23年度 北栄町教育委員会の事務に関する各委員による点検評価表

(評価の観点)
 ①継続・単年
 ②対象者、参加者
 ③参加者の満足度
 ④予算措置
 ⑤ビジョンへの貢献度

(評価)
 A=目標を大幅に達成できた
 B=目標をいくらか超えて達成できた
 C=目標どおり達成できた
 D=目標を一部達成できなかった
 E=ほぼ全く達成できなかった

外部委員による事業評価

事業名	実施概要	成果と課題	総合評価	各委員の意見等
1-④家庭教育の充実				
○子育て学習講座の実施 (全保育所と幼稚園)	家庭教育の充実を図るために、町内8施設(保育所・幼稚園)で実施する。内容は、基本的な生活習慣の定着、親子のコミュニケーションのとりかた等。 通年実施。各施設1~2回程度。	実施中 実績11回 延べ参加人数419名(12月28日現在) 今後の実施予定 2回 それぞれの施設の現状に合うテーマを選び、専門の講師による講演を行った。講演の内容は、絵本の読み聞かせや歩育の大切さ等。参加した保護者・保育士からは「参考になった」「励まされた」等の感想が聞かれた。	C	・とても良い取り組みだと思う。 ・継続していただきたい。 ・各園の希望、保護者の意見等から、講演内容を検討してはどうか。
○家庭教育12か条の推進事業	基本的な生活習慣の定着に向けチラシ配布等の啓発に加え、今年度はカレンダーを作成し、家庭や学校での取り組みを働きかける。(カレンダーの挿絵は小学生より募集する)	・家庭教育12か条カレンダー1,500枚作成(12月に町内の保幼小中の児童・生徒がいる家庭へ配布) 取り組みに対するチェック欄をつけることで取り組みの増進を図る。 ・「家庭教育12か条」、「6:30運動」ポスター各7,000枚(11月の集中発送で全戸配布、保幼小中の児童・生徒へ配布)	D	・前年度予算増額は、カレンダー作成・配布であるが、製作前に想定した教育効果は達成できたか？ ・予算の大幅増で、どれだけ活用されているか疑問だが、家庭教育12か条の推進になっていると思う。 ・カレンダーについては、目には付くが継続という点では疑問です。別の方法がよいのでは…。そこに予算をかけるのはどうなのかと思います。 ・効果は見えない→効果は長期でみることとなる ・年間を通して目にふれる効果効果がねらい→効果を図るため、アンケート実施 ・各条のアンケートか？→わからない、目にふれる効果 結果は？→4月中 ・カレンダーの利活用→希望者に対し回収 ・機会を設けることによって推進している。
1-⑦地域で育てる教育の充実				
○同日公開参観日の実施	保育や学習の内容、環境、子どもたちの様子を知っていただくために、町内全保育所・幼稚園・小学校・中学校を開放する日。誰でも、好きな時間に参観することが可能 ◎1回目 6月3日(金) ◎2回目 10月21日(金)	参観者数 ◎1回目 6月3日(金) 1,072人(昨年980人) ◎2回目 10月21日(金) 1,127人(昨年1,162人) 普段の遊び・授業・休憩・給食・掃除、行事などいろいろな場面での子どもたちの様子を保護者や町民の方に知っていただくよい機会になった。また、アンケートに感想や意見を書いていただくことにより、取り組みについて振り返り、保育や教育の充実につなげることができた。	B	・良い取り組みだと思う。 ・これからも継続してほしい。 ・おとし参加。良い試み。継続に価値がある→プラスの効果を求める手法は何かあるのか。
○教育シンポジウムの開催	平成23年6月13日(月) 午後7時より 大栄農村環境改善センターで開催 わたしたち大人(家庭・地域・学校)が、それぞれの立場でできることは何か、専門家のお話を聞き、一緒に考え、一人ひとりが実践していけるようにすることが目的のシンポジウム。併せて、脳の活性化や記憶力にも関係するといわれる音読。アナウンサーの朗読を聞き、音の響き・言葉の美しさを感じ取り、家庭での子どもたちの音読につなげるようにするもの。	平成23年6月13日(月) 午後7時~9時10分 大栄農村環境改善センター 参加者110人 現職アナウンサーの「伝える」ことを意識した朗読に、参加者は、声に出して読むことを感じ「さっそく音読を始めたい」「これからは続けていきたい」という感想を持った。また、シンポジウムでは3人の専門家の話から、参加者が子どもの生きる力をはぐくむ主体であることに気づき、「これならできそう」と具体的に取り組みそうなことを考えることができた。 参加者が少なかった。多くの人に参加してもらうための働きかけが今後の課題である。	D	・初めての企画ではあるが、参加者が少ない。 ・曜日、時間、特に誰に聞いてもらいたいのか、聞いてみたいと思える内容を提供してほしい。
2-①地域との連携を深め特色ある教育活動の推進				
○職場体験学習(ワクワク)	○職場体験を通して、働くことの楽しさや厳しさを学ぶことで今後の進路について考えようとする態度を養う。 大栄中学校 2年生 57人 ※6月20日(月)~24日(金) 5日間 TCC等20を超える事業所を予定 北条中学校 2年生 61人 ※7月5日(火)~8日(金) 4日間 TCC等20を超える事業所を予定	【大栄中学校】 6月20日(月)~24日(金)5日間 2年生 57人 23事業所 【北条中学校】 7月5日(火)~8日(金)4日間 2年生 61人 23事業所 ○成果 ・職場体験を通して、働くことの楽しさや厳しさを学ぶことができ、今後の進路について考える機会となった。 ・地域の人たちとのふれあいを通じて、社会の一員としての自覚を持ち、社会の規律やマナーを学ぶことができた。 ○課題 ・受け入れ事業所の固定化 ・時間数確保による実施時期の検討	D	・受け入れ事業所を増やしていく必要がある。 ・受け入れ先(事業所)の数を増やしてはどうか？ ・子どもの意欲があまり感じられないとの声を各事業所から聞くことがある。取り組みとしては良いが、方法として生徒自身が、自分で体験したい職場を考え、自分の足でお願いしに行くとか。(他の学校で取り組んでいる) ・教員の事前指導、職場体験という活動に対しての考えが甘いと思う。 ・主体教委→学校 マンネリ化⇒なぜ行うのか、今一度ふりかえり ・マンネリ化しているのでは。教員も最終日にしか回らなくなっている。 ・子どもの意欲が感じられない。学校との関わりがない。子どもは授業を受けなくていいという感じになっている。
○ゲストティーチャーの招聘 (地域人材の活用)	大栄中学校 運動部外部指導者 1年生社会人講師 北条中学校 運動部外部指導者 大栄小学校 クラブ活動の指導 11月17日(木) 「ほうじょう子ふれあいフェスティバル」 ・フラワーアレンジメント ・わらから作るしめ縄 ・白玉だんごづくり など	【大栄中学校】・柔道、剣道、卓球の3種目 【北条中学校】・卓球、バレーボール、バドミントンの3種目 【大栄小学校】・クラブ活動・黒ぼく太鼓の指導等 【北条小学校】・11月17日(木) 「ほうじょう子ふれあいフェスティバル」におけるゲストティーチャーなど ○成果 地域の人たちと接することで、地域との結びつきが出来た。	C	・同日参観日と連動してのPTA総会と同じように、保護者の中から募集してみてもどうか。(例:倉吉東高校の「大人の一言」) ・地域の人たちを活用してもらい、子どもたちの生き生きとした活動にしていってほしい。 ・継続してほしい。 ・運動部外部指導については、予算があるのか？お金がかかってくると少し問題が変わってくると思うが…。 ・地域の人との結びつきについては評価できる。 ・北条・大栄各3人 10万円/1人 4千円/1回 1人固全額 2人県・町半額⇒見返しはありうる。

平成23年度 北栄町教育委員会の事務に関する各委員による点検評価表

(評価の観点)
 ①継続・単年 ④予算措置
 ②対象者、参加者 ⑤ビジョンへの貢献度
 ③参加者の満足度

(評価)
 A=目標を大幅に達成できた D=目標を一部達成できなかった
 B=目標をいくらか超えて達成できた E=ほぼ全く達成できなかった
 C=目標どおり達成できた

外部委員による事業評価

事業名	実施概要	成果と課題	総合評価	各委員の意見等
2-④町の自然や歴史に触れ合えるイベントの開催				
○歴史文化探訪ウォークの実施	<p>【目的】北栄町内の歴史、文化財、文化芸術を自らの足で歩き、知ってもらう事により、郷土愛の醸成を図る。 【期日】平成23年10月9日(日)午前9時から 【内容】北条砂丘開拓をめぐるコース(約3k) 【募集定員】25名 ※3年目通算5回目</p>	<p>【成果】北栄町内の歴史・文化を歩き訪ね、知ることにより郷土愛の醸成を図る目的で、今回大栄地区の瀬戸集落地内を巡った。県指定保護文化財や、古墳跡等を解説を行いながら約3.5kウォーキングを行った。参加者の感想としては、「近くにいなから歴史や存在を初めて知った」などがあり、ふるさとの認識に役立った。(参加者数23名) 【課題】今回で5回目となるが、参加者の年齢が高齢者が多く歩行距離と、コース設定に工夫が必要。 統一するとすれば、色分けする必要がある。</p>	C	<ul style="list-style-type: none"> ・事業目的が「体力づくり」ではなく「歴史探訪」だが、「ウォーキングのまち北栄町推進事業」と統合が可能。 ・高齢者が多いとの事について、小学生を対象にして授業の1つに取り入れては、北条小では、小2の時に「またんけん」という北条区内の事業所等を回る学習がある。同じように考えるのは難しいでしょうか？町内の歴史や文化など、子どもに知ってもらう方がいいと思います。
○ウォーキングのまち北栄町推進事業	<p>【目的】昨年作成した、(北栄てくてくウォーキングマップ)を活用し、気軽に取り組めるウォーキングで、運動人口の裾野の拡大を図る。 【期日】平成23年4月～12月の間で6回開催 【時間】午前9時から始め午前中に終了 【内容】マップ11コースの中から今年度は6コースを歩く 【募集定員】定員なし ※参加者には毎回参加缶バッジ有</p>	<p>昨年作成したウォーキングマップを活用し、ウォーキングによる運動人口の裾野の拡大を図るべく実施。12月末で6回開催し、延べ280名が参加。参加者は、町内外からの参加がある。町のウォーキング大会として定着しつつある感がある。(本事業は県のウォーキング事業の19のまちを歩こう公認コースに認定されている) 現行では、目的ごとに行っている。</p>	C	<ul style="list-style-type: none"> ・事業目的が「体力づくり」ではなく「歴史探訪」だが、「ウォーキングのまち北栄町推進事業」と統合が可能。 ・節約可能、内容調節可能 ・定着しつつある。 ・参加者もあり、いい取り組み ・上記とは目的が違うため、評価を変えた。
3-①保・幼・小・中の連携の充実				
○教員の人事交流	<p>◎小学校と中学校との間の人事交流 大栄中学校⇄大栄小学校 ※現在も継続 西田真由美先生(大栄中) 北条中学校⇄北条小学校 ※現在も継続 中本祐二先生(北条小) ねらい ①教職員の意識改革 ②指導方法の改善 ③連携推進</p>	<p>実施中 【大栄中学校⇄大栄小学校】 西田真由美先生(大栄中) 【北条中学校⇄北条小学校】 中本祐二先生(北条小) ○成果 他の教職員の意識改革、そして指導方法の改善への効果があった。また、異動した教職員自身についても意識改革が進み、指導方法の改善に繋がった。</p>	C	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年交流された教員の貴重な経験がデータベース化されて蓄積・継承され、他の職員へも浸透することを期待。 ・意識改革？ ・成果をどのように伝えているのか？ ・意識と指導方法が、何からどういう風になら変わったのか？ ・データベース化はできていない。教えることで成果としている。
○町学校教育研究協議会	<p>○北栄町学校教育研究協議会 ①目的:町立幼稚園・小学校・中学校が相提携し、幼児、児童、生徒の豊かな人間性と確かな学力を育て、本町教育の充実発展に努め、併せて関係諸団体との緊密な連携を図ることを目的とする会。 ②構成:町立幼稚園・小学校・中学校の教職員 ●町からの補助金 150,000円</p>	<p>平成23年5月9日総会開催 その後は各部署ごとに部会で活動 (学習指導部会・生徒指導部会・人権教育部会・特別支援教育部会・健康教育部会・読書推進部会・学校事務部会) ・幼・小・中学校が連携し、幼児、児童・生徒の豊かな学力を育てるために各専門部(学習、生徒指導、人権教育、特別支援教育、健康教育、読書推進、学校事務)に分かれ、それぞれの活動方針にそった活動が進められた。</p>	C	<ul style="list-style-type: none"> ・成果をどのように伝えているのか？ ・意識と指導方法が、何からどういう風になら変わったのか？ ・結果がどうか伝わってこない。 ・話し合いの中で伝える。 ・チャイム前に教室にいる。 ・具体例をあげる。
○レインボープラン(大栄小中・中央育英高校)	<p>大栄小中・中央育英高校連携 事業 目的:同じ丘に大栄小学校・大栄中学校・鳥取中央育英高等学校があるという立地環境を活かし、小中高等学校が連携する中で、一人ひとりの児童生徒の発達を上級学校へと繋げると共に、進路意識の向上及び教職員の他校種理解を深めることを通して、学校が抱える共通の諸課題(学校不応への対応、教科指導の一貫性、人権教育・特別支援教育の充実等)の解決策を見出す。 ※平成23年度向ヶ丘レインボープラン活動計画は別紙のとおり</p>	<p>小学校のプール開き、学習発表会、中学校の文化祭に高校生を招き、水泳や楽器演奏を行ったり、中学生が高校参観をしたりして、交流を深めた。 小学校・中学校・高等学校の英語学習において、系統性のある指導をするために、教員が他校での英語学習を参観した。また、教員の交流だけでなく、生徒に対しては、高等学校教員が中学校で英語の学習をした。</p>	C	<ul style="list-style-type: none"> ・旧大栄地区と旧北条地区の地区クロスの交流も実施してほしい。 ・良い取り組みだと思ふ。 ・継続してほしい。 ・幅を広げて、町内外の交流を考えてはどうか。 ・北条地区⇄大栄地区の交流も考えてほしい。 ・小中十高の取り組み ・北条地区の交流もあっていい。
○ドリームプロジェクトX(北条小・中)	<p>北条小中連携 事業 テーマ 9年間を見通した、指導・学びの連続性のある小中連携 ～夢・希望に向かって、高め合う北条の子ども～ ※全体構想図は別紙のとおり</p>	<p>小中学校において、9年間を見通した指導・学びをするために、共通して実践することから決め、取り組むことができた。 児童生徒が定期的に交流会を持つことで、小学生は中学生に対する憧れを持ち、中学生は小学生から必要にされているという満足感などを実感できた。</p>	D	<ul style="list-style-type: none"> ・旧大栄地区と旧北条地区の地区クロスの交流も実施してほしい。 ・小・中連携ができて良いことです。 ・大栄・北条ともに、小学校から中学校へとストレートなため、連携ということは大切なことだと思ふ。交流することも大切である。しかし、実際は中学校から小学校気分が抜けきれず、成長が幼いという声も耳にする。子どもたちだけの交流だけでなく、教員同士の交流がもっと必要ではないか。 ・中学校と小学校の時とは違うという事も教えていく必要があると思ふ。 ・単一地区で小中の連携 ・特に生活面での連携が感じられない。

平成23年度 北栄町教育委員会の事務に関する各委員による点検評価表

(評価の観点)
 ①継続・単年
 ②対象者、参加者
 ③参加者の満足度
 ④予算措置
 ⑤ビジョンへの貢献度

(評価)
 A=目標を大幅に達成できた
 B=目標をいくらか超えて達成できた
 C=目標どおり達成できた
 D=目標を一部達成できなかった
 E=ほぼ全く達成できなかった

外部委員による事業評価

事業名	実施概要	成果と課題	総合評価	各委員の意見等
③-3 いじめ・不登校問題に対する学校の危機管理体制の充実				
○中学校での心の教室相談事業の実施	・生徒たちが抱えている悩みやストレス等を軽減するため、心の教室相談員を北条中学校並びに大栄中学校に配置し、生徒が気軽に相談したり、安心して学校生活がおくれたりするような環境を提供するもの。 ・相談員は、概ね週3日、1日当たり4時間、中学校に勤務する。	【大栄中学校】相談員 川本 美保さん（週3回 午前勤務） 【北条中学校】相談員 小原 孝夫さん（週3回 午前勤務） ○成果 生徒のことで先生とのパイプ役となっている部分がある。また、地域の人であるため、保護者をよく知っている場合など、保護者との話ができる場合がある。	B	・定量的なデータを今後明記。 ・しっかりパイプ役になっていただきたいです。 ・教育面で役立ててほしい。 ・子どもが相談していることをきいている。 ・相談をする窓口があることはいいこと。 ・子どもの行き先があり、継続してほしい。
○いじめ対策のためのQ-U実施並びに教職員研修会	○小中教職員対象研修会 「いじめを生まない人間関係づくり ～QUを生かした人間関係の構築～」 6月30日(木) 15時30分～17時 講師 奈良教育大学准教授 粕谷貴志 於:大栄農村環境改善センター ○QU実施(小学校3～6年、中学校全学年) 各小学校・中学校 2回実施 ★QU・・・末尾の用語解説をご覧ください。	小中教職員対象研修講演会「いじめを生まない人間関係づくり ～QUを生かした人間関係の構築～」 6月30日(木) 参加者数109人 QUを実施することで、子ども一人一人の理解と対応方法、学級集団の状態をつかむことができ、学級経営に役立てることができた。 研修会では、QUの結果をいかに役立てるかを学ぶことができたとともに、調査に頼り過ぎず、日頃の児童生徒の様子をよく見ることの大切さも学んだ。	C	・教員のための研修であり、とても良い研修会だったと思います。 ・研修会には行ってほしい。必要なこと ・学級経営については、担任の先生が大きく関わってくるのだが、担任の先生以外の級外、管理職との共通理解ができていなかろうか疑問に思う部分がある。⇒実際の対応面でズレの部分があるのでは⇒本当に役立てることができたのか疑問 ・計画どおり
○不登校対策の講演会	○小中保護者対象講演会 「不登校を未然に防ぐには」 講師 松嶋先生(中部支援センター)ほか 実施日 各小・中学校の参観日の際に実施 ⇒教員が参加しにくかったのでは	○小中保護者対象講演会 ・北条小 1月27日(金) 講師 加藤敏明(鳥取大学医学部准教授) ・大栄小 10月21日(金) 講師 松島純子(中部子ども支援センター長) ・大栄中 10月21日(金) 講師 小林北斗(スクールカウンセラー) ・北条中 3学期実施予定 大栄中学校の講演会では、思春期の子どもたちの状況について分かりやすく話をされ、保護者として接する心構えを学ぶことができた。 大栄小学校の講演会では、これまで多くの不登校児童生徒に関わってきた講師の話聞くことができた。	C	・保護者が10/60人、教員が6/20人の参加は少ないのではない。 ・せっかくの講演会なので、できれば年度当初のほうが良いのではないのでしょうか。
○要保護児童対策地域協議会	○虐待を受けている児童をはじめとする要保護児童の早期発見や適切な対応を図るために、関係機関が当該児童に関する情報や支援についての考え方を共有し、適切な連携のもとで対応して機関として設置(主管課:町民課) ※組織図・・・別紙のとおり	◎事業実施状況 【担当者会の開催】8月25日・12月9日 内容:該当児童・生徒に関する情報の交換・方針 ○成果 この会で、情報交換や今後の対応が協議でき、各課のすべき役割が再認識することが出来たので、児童・生徒の効果的な対応をすることができた。 ◎課題 この会をより効率的なものにするためには、年間開催スケジュールを、年度当初にある程度決めておく必要がある。	B	・各課が連携して、対応してほしい。 ・不登校などの相談窓口として設置されていることはとてもいいこと。 ・情報共有の場
4-①学校教育の充実				
○少人数学級の推進	児童・生徒へのきめ細やかな指導を充実させ、基礎学力の定着を図るとともに、基本的な生活習慣の定着を図るため、教職員を次のとおり原基準と町基準に基づき配置した。 ○小学校 1・2年生→30人学級(原基準) 3～6年生→33人学級(町基準) ○中学校 1年生→33人学級(原基準) 2・3年生→35人学級(町基準) ①町の定額負担による配置増 北条小学校 1年生70人(2→3学級) 1人増 2年生70人(2→3学級) 1人増 大栄小学校 1年生77人(2→3学級) 1人増 2年生89人(2→3学級) 1人増 北条中学校 1年生75人(2→3学級) 2人増 ②町の全額負担による配置増 北条小学校 4年生89人(2→3学級) 1人増 大栄小学校 5年生75人(2→3学級) 1人増 ③原額負担(研究指定方式)少人数格導法工夫加配教員を学級担任に振り替 北条小学校6年生89人(2→3学級) 1人増 大栄小学校6年生70人(2→3学級) 1人増	○当初の基準どおり実施 ○小学校 1・2年生→30人学級(原基準) 3～6年生→33人学級(町基準) ○中学校 1年生→33人学級(原基準) 2・3年生→35人学級(町基準) 少人数学級編成により、家庭環境や学力面に課題のある児童生徒に対して、一人一人の基礎学力の定着や主体的な学習の取り組みの充実を図るために、学習指導面、生活指導面とも日常的な細やかな指導の積み上げができた。 特記事項 ※国が定める小学校1年の学級編成基準が、平成23年4月に40人から35人に改正	B	・町内他町と比較しても充実している。 ・少人数学級編成が望ましいと思うので、今後も実施していただきたい。 ・少人数学級の方が、教員の目も行き届きやすいので良いと思う。 ・少人数学級の編成で、教員の数も増えるという事は、人件費もかかってくるということですね。一保護者としては、教員の力量を高める取り組みに期待したいところです。
○ICT教育活動支援員の配置	○ICTとは Information and Communication Technology の略 (情報通信技術) ・児童・生徒のパソコン・インターネット・電子黒板などを利用した教育のため、担任を補佐するために配置 ・全小中学校に1名ずつ配置	○効果 ①児童・生徒に対する効果 ・各教科でインターネットで調べた情報がたくさん入ってきて、パソコン室における学習においての積極性により、児童が短時間で必要な学習を身に付けることができた。 ・授業でのICT機器の活用が進み、視覚による理解の必要な児童が学習に対して積極的になり、学級全体が集中して学習できるようになった。 ・児童の活動が、写真や表で活用されることにより、児童が活動の喜びを感じることに、次への強い意欲喚起となった。 ・主体的な学習の意欲の向上のため、児童による積極的なアドバイスで、児童は満足した作品を作り上げた。 ②教師に対する効果 ・ICT機器を活用するための資料作成に協力し、児童にとって効果的な資料、教材が多量に作成された。 ・パソコン室での学習準備、教材作成の積極性により、担任は時間を有効に使って児童の指導にあたることができた。 ③その他の効果 ・ホームページの更新にも協力し、閲覧回数が今年度急増した。 ・学校関係者のアンケート結果、グラフ化などを活用し、効果の効率化と情報発信に大きな効果があった。 ・課題 ・課題というよりは期待として、児童用パソコンの更新により、担任の支援によって、児童のパソコンでの学習がより大きな効果を得られる。 ・教職員をさらに効果的に活用するための授業展開の工夫	B	・専門職の方でない指導はなかなかでしようから、先生方にも研修を重ねていただきたい。 ・専門的に特化されているものであり良い制度

平成23年度 北栄町教育委員会の事務に関する各委員による点検評価表

(評価の観点)
 ①継続・単年 ④予算措置
 ②対象者、参加者 ⑤ビジョンへの貢献度
 ③参加者の満足度

(評価)
 A=目標を大幅に達成できた D=目標を一部達成できなかった
 B=目標をいくらか超えて達成できた E=ほぼ全く達成できなかった
 C=目標どおり達成できた

●外部委員による事業評価

事業名	実施概要	成果と課題	総合評価	各委員の意見等
4-③基礎基本の定着				
○サマースクール (夏休み中の勉強会)	1 ねらい ・夏休みにおいて学習習慣を持続させるとともに、講師のアドバイスや指導を受けることで学習内容や学習方を学び、意欲を持って学習にのぞめるようにする。 ・地域の人とふれあうことで、地域の一人としての自覚を深めるとともに、地域の人が講師として指導される様子から、自らの生き方についても考える機会とする。 2. 対象・期日 ・小学校児童40名、夏休み中の10日間 ※詳細は別紙参照	◎実施状況 ※人数は延べ人数 【北条地区】7/25～8/19の内10日間 北条改善センター 参加児童 153人 指導者 18人 【大栄地区】7/26～8/19の内10日間 町立図書館会議室 参加児童 181人 指導者 43人 ○成果 参加児童が、各自で学習の準備をし、静かに学習を進めることができた。教員経験者を講師に依頼し、児童の質問に丁寧に答えていた。 ●課題 1回の時間が2時間であったが、後半、児童の集中力が続かなかったため、時間を少なめにした方がよかった。	C	・教員経験者以外に保護者のボランティアも募ってはどうか。 ・児童の希望者が潜在的に施設制限より多ければ、複数個所の開催も必要。 ・保護者にとっては、とてもありがたい勉強会だと思います。今後も、改善するところは改善してもらい、持続していただきたい。 ・「サマースクール(教科学習)」と「学び力アップ講座(学習1時間+体験活動)」の関係?→子どもは好んで取り組む。すり合わせて実施してはどうか。⇒別紙 ・保護者の中から指導者を募集してはどうか? ・いい取り組み ・機会をより多く提供できるようにできるのでは
○学力向上講演会の開催 (教職員)	○光アドバイザー招聘事業 (学識経験者を呼んでの授業研究→講師の選定と依頼は、各学校で行なう) ・大栄小 3回・北条中 2回・大栄中 2回 (北条小は「人権教育指定校」事業(国)を実施する予定)	従来から行っている校内授業研究会に、外部から学識経験者に来てもらい、各学校の研究推進や当日の公開授業についてアドバイスをもらい、それもとに、授業力の向上を目指して取り組むことができた。	C	・教員の参加状況はどうなっているのか。⇒校内研究会=ほぼ全員が参加 ・教師の資質の向上を願い、より良い授業、分かる授業により子どもたちの学力向上を目指していただきたい。
5-②生涯学習の推進				
○社会教育講演会の開催 (宝くじ文化講演)	全町民を対象とした講演会を開催。 講師:草野 仁 日時:平成23年10月22日(土) 午前10時～ 場所:北栄町大栄農村環境改善センター	○成果 来場者数338名(83.7%)、チケット売り捌き枚数500枚 目標であった80%を超える来場があり、特に高齢の方の来場が多く見られた。ユーモアを交えた講演に観客から笑いが起こる場面も多く、参加者が講演を楽しんでいる様子が見られた。 ●課題 事前の周知に関し、新聞等の報道機関の利用も含めより幅広く広報活動を行うべきだった。また、整理券配布が無料のため「とりあえずもらっておく」という人が多いことが考えられる。売り切れ後の問い合わせもあり、本当に欲しがっている人へ行き渡るようにする方法を今後考えていく必要がある。	D	・配布したチケットの確実な参加を促してほしい。 ・聞きたい人が聞けなかったのはとても残念なことです。受け取った以上は責任持って参加してほしい。 ・有名人は人が集まる。 ・80%の来場があったことは評価できる。 ・聞きたい人が聞けないことは課題
○生涯学習出前講座提供事業	地域住民を対象として「出前講座メニュー」を発信する。地域や団体が主体的に学習出来る体制をつくることで、学習への意欲の向上を図る。	今年度初めての事業だったため、予算確定後の5月の自治会長会以降町報・HP等で定期的に周知しているが、申し込み団体数が少ない。5月の自治会長会では、地域の行事(事業)は年末～年始のうちにだいたい決めてしまうのでこの時期に出されても自治会では計画しにくいとの意見もあったので、来年度分は11月自治会長会でも周知したい。12月末現在の実施件数は4件(ニュースポーツ、税、福祉、保健)だが、実施団体からは「よかった。今後も実施を検討したい。」といった前向きな意見が多く聞かれた。 ※1月に2件実施予定 出前講座のメニューは54講座 メニューにないものも対応可能⇒H24:5件	D	・自治会長さんに周知してもらい、もっと活用してほしい。→声かけがなかったのでは地域に浸透していないのでは?⇒ニーズはある。もっと活用してほしい。 ・講座54に対して実施4件は少ない。 ・内容がニーズに合っているのか⇒まんべんなく対応、ニーズ調整していない⇒希望に合わせることでしている ・参加周知の方法は工夫が必要 ・住民視点でのニーズ ・参加周知方法の改善
○歴史文化探訪ウォークの実施	【目的】北栄町内の歴史、文化財、文化芸術を自らの足で歩き、知ってもらう事により、郷土愛の醸成を図る。 【期日】平成23年10月9日(日)午前9時から 【内容】北条砂丘開拓をめぐる コース(約3k) 【募集定員】25名 ※3年目通算5回目	【成果】 北栄町内の歴史・文化を歩き訪ね、知ることにより郷土愛の醸成を図る目的で、今回大栄地区の瀬戸集落地内を巡った。県指定保護文化財や、古墳跡等を解説を行いながら約3.5kウォーキングを行った。参加者の感想としては、近くにいなながら歴史や存在を初めて知ったなどがあり、ふるさとの認識に役立った。(参加者数23名) 【課題】 今回で5回目となるが、参加者の年齢が高齢者が多く歩行距離と、コース設定に工夫が必要。	C	
○ディスカバー北栄2011 (ボランティアで守る町内文化遺産)	【目的】町内には35箇所の指定文化財があるが、それらを知る人は少ない。ボランティアによる文化財保護(清掃等)を行い、存在、意義を知ってもらう。また特徴的などり組みで情報発信を行い文化振興を図る。 【期日】平成23年11月6日(日)午前9時から2時間程 【場所】国史跡 由良台場 【作業内容】台場の清掃、草刈り、解説 【募集定員】特に定めなし	指定文化財の存在を周知する事と、郷土愛を醸成するために清掃等をボランティアで取り組むが、特に観光シーズンを前に取り組む事とし、豊田家庭園を対象にして行う。開催時期は草枯れしている春休み期間中に開催予定。(地元ボランティアとの協働も協議中) ※事業実施がなされない(H24実施する予定)⇒人的配置予定	E	・担当職員1名減で未実施

平成23年度 北栄町教育委員会の事務に関する各委員による点検評価表

(評価の観点)
 ①継続・単年
 ②対象者、参加者
 ③参加者の満足度
 ④予算措置
 ⑤ビジョンへの貢献度

(評価)
 A=目標を大幅に達成できた
 B=目標をいくらか超えて達成できた
 C=目標どおり達成できた
 D=目標を一部達成できなかった
 E=ほぼ全く達成できなかった

◎外部委員による事業評価

事業名	実施概要	成果と課題	総合評価	各委員の意見等
○町民音楽祭の開催	【目的】北栄町独自の音楽文化発信の場として、音楽祭を開催。(愛好者が多いコースに特化) 【期日】平成23年10月23日(日)午後 【場所】大栄農村環境改善センターホール 【内容】町内で活動するコーラスグループ等8団体を予定・実行委員会方式で開催。	【成果】 北栄町の音楽文化の裾野の拡大、技術行動、交流を目的に開催した。町内5団体の愛好団体が参加し28曲を合唱。入館者のアンケート回収60人中、50人がとても満足、満足と回答している。初めての試みであったが、出演者、入館者共に好感をもった事業。 【課題】 アンケートの要望に小学生や中学生の出場を希望する声が多かった。現在北条小学校のみだが、大栄小学校にも形が出来かけている。次回に向け学校等へ呼びかけが必要。	C	・アンケートを取られた以上は、要望に応じていただきたい。
○「読み語るふるさとの偉人達」事業	【目的】町内には、前田寛治や豊田太蔵、日置黙仙など本町発展の礎となった偉人がある。それらの伝記、記録を読み聞かせにより周知し、郷土に誇りを持ってもらう。 【期日】平成23年9月17日(土)午前10時から予定 【場所】北条歴史民俗資料館 【定員】定めない(近隣グループホームなどにも声かけ) H23～実施	現在町内の読み聞かせボランティア「つくしんぼ」と協議中だが、読み聞かせ用の台本を制作する必要があり、今年度は台本制作を行い、翌年度出前に読み聞かせを行う事とする。 当初ある物とする予定であったが、「つくしんぼ」が読み聞かせを実施する上で必要な物の作成が必要であるということから、現在は台本を作成している。 ⇒榎田新蔵、豊田太蔵完成予定⇒H24実施可能(今後は増やすのか⇒当面は2名分)	D	・類似事業の集約化の検討も必要。 ・未実施(職員減) ・実施できていない。 ※進捗 読み聞かせ用台本の作成完了⇒現段階では実施できない⇒紙芝居を作成
○社会教育関係団体活動費補助事業	自主的に行う社会教育活動や学習、または地域社会に貢献するための諸活動を行う社会教育団体の活動費及び指導謝礼等の一部を補助する。 婦人会:130,000円 PTA:20,000円×4校(小学校2校、中学校2校)	PTAは補助金を活用し保護者を対象とした研修会を開催。「親育ち、子育て」に関する事、「人権」に関する事等を学習。「これから子育てをしていく上での大きなヒントを得た」「自らの生活や子どもとの関わりを見直すきっかけとなった」等の感想があり、保護者にとって日頃の生活を振り返るよい機会となっている。 婦人会も会費・補助金を活用し各種研修会に意欲的に参加している。また、町行事への積極的に参加・協力を得ている。	C	・会員数65名の婦人会への130,000円の算出根拠は何か。適切なのか。 ・補助金を見直す必要がありそうです。会員人数も減ってきている⇒算出根拠 ・合併時のすり合わせで決定。根拠なし。町行政への貢献から決定⇒町に明文化はあるのか?⇒ない
5-③人権同和教育の推進				
○人権の花運動の実施	花を育てることを通して、命の尊さを学び、豊かな心、思いやりの心を養う。 5月17日(火)、北条小学校、大栄小学校にて「人権の花」の苗を贈呈した。(広報北栄6月号参照のこと)	(成果) 今年も大栄、北条小学校に700株贈呈。「環境委員・栽培委員だけでなくみんなで苗植えや水やりをやれた。」「玄関前がきれいになった。」という感想が聞かれた。 自覚を持って世話をする姿が見えた。 (課題) 花を育てる以外にも育てた花で写真会等をしてやさしい思いやりのある心を育てていくようにしていく。	C	・育成された苗より、児童が一から種を育てることで生命の大切さが分かると思う。(前年度も指摘) ・とても良い活動だと思います。
○人権同和教育小地域懇談会の開催	町内全63自治会で自主的、主体的な学習活動として小地域懇談会を実施することにより「身の回りにおける人権課題」に気づくようみんなで人権感覚を高めていく。(9月から11月)	(成果) 今年も町内全63自治会の自主的な取り組みとして主体的な運営で実施していただいている。全自治会(63)で実施。(参加者数1,037人、自治会平均16.5人、昨年度最終自治会平均人数19.1人) (課題) 各自治会で懇談会を実施する方法になって今年で3年目。参加者が全体的に減ってきている。(H21年1,469人、H22年1,202人)	D	・参加者が年々減少しているため内容・実施の仕方の工夫が必要。 ・自治会によって温度差がある。 ・意識が低下してきている。同じ人が参加している。同じことをしている⇒意識を高めてほしい
○小中学生の地区学習会の開催	大野児童館、北条文化会館、大栄文化センターにおいて、人権学習・教科学習・仲間づくりに取り組みすることで部落差別をはねのけ、差別に立ち向かう力を養うため、同和地区の小・中学生を対象に各小・中学校で年34回程度を実施する。	(成果) 週1回、差別に負けない力をつけるため人権学習、仲間づくりを行い、進路を切り開く基礎学力を高める教科学習を実施している。只今、12月10日～11日に行われる部落解放文化祭の学習発表のため各学年ごとテーマを決めて部落問題をはじめ幅広い人権問題について学習中。	B	・いつごろからか⇒昭和の時代 ・何人くらい対象⇒小27人、中11人すべてに参加する予定 ・学習によっての仲間づくりができていく ・意識の変化はあるが、地区学習の必要性はある ・子どもたちの意識も変わってきている

平成23年度 北栄町教育委員会の事務に関する各委員による点検評価表

(評価の観点)
 ①継続・単年 ④予算措置
 ②対象者、参加者 ⑤ビジョンへの貢献度
 ③参加者の満足度

(評価)
 A=目標を大幅に達成できた D=目標を一部達成できなかった
 B=目標をいくらか超えて達成できた E=ほぼ全く達成できなかった
 C=目標どおり達成できた

●外部委員による事業評価

事業名	実施概要	成果と課題	総合評価	各委員の意見等
5-④人権尊重まちづくりの推進				
○人権教育講演会の開催	より多くの町民に呼びかけ人権課題に対する理解を深めるため講演会を開催する。 ・日時 7月21日(木)19時から受付 ・場所 大栄農村環境改善センター ・演題 「輝いて生きるために」 ・講師 江嶋修作さん(解放社会学研究所長)	(成果) 参加者数301人。アンケート回収者のうち174人中、「人権問題に関心や理解が深まった。」が174人中132人(75.9%)だった。その他、「人権感覚を養うためにも、人権に関する情報に関心を寄せ、学習していくことの必要性を感じた。」という感想もあった。 (課題) 町民一般の方を対象にした講演会なので、会場客席(400)の参加者をめざす。	C	・定員400名の会場を設定するなら、参加者数の増加が必要。(4分の3)例年300人程度 ・集客方法について、広報活動を重点的に検討。
○人権同和教育事業所研修の実施	事業所経営者や従業員の方で人権教育講演会や懇談会等になかなか参加しにくい方へ少しでも人権問題に関心を持っていただくため事業所へ依頼し、こちらから出向き研修会を実施する。	(成果) 12月末時点で、9社に実施いただいた。参加者合計421人。	C	・1/12時点で421人。 ・参加者が多かった。=自治会の実施方法も検討が必要では
5-⑤関係諸機関、団体との連携及び指導者の育成				
○人権同和教育推進指導員、地区推進員等の研修	人権同和教育小地域懇談会のスムーズな運営と助言等を行うため、年3回程度の会合を開き、学習内容を協議検討を行う。	(成果) 小地域懇談会を実施する前に指導員会議を2回実施。地区推進会議も2回実施した。 (課題) 指導員の減少。自治会長及び地区推進員の資質の向上が必要。	C	
6-⑥地域住民の健康増進				
○歴史文化探訪ウォークの実施	【目的】北栄町内の歴史、文化財、文化芸術を自らの足で歩き、知ってもらふ事により、郷土愛の醸成を図る。 【期日】平成23年10月9日(日)午前9時から 【内容】北条砂丘開拓をめぐる コース(約3k) 【募集定員】25名 ※3年目通算5回目	【成果】 北栄町内の歴史・文化を歩き訪ね、知るにより郷土愛の醸成を図る目的で、今回大栄地区の瀬戸集落地内を巡った。県指定保護文化財や、古墳跡等を解説を行いながら約3.5kウォーキングを行った。参加者の感想としては、近くにいながら歴史や存在を初めて知ったなどがあり、ふるさとの認識に役立った。(参加者数23名) 【課題】 今回で5回目となるが、参加者の年齢が高齢者が多く歩行距離と、コース設定に工夫が必要。	C	
○ウォーキングのまち北栄町推進事業	【目的】昨年作成した北栄てくてくウォーキングマップを活用し、気軽に取り組めるウォーキングで、運動人口の裾野の拡大を図る。 【期日】平成23年4月～12月の間で6回開催 【時間】午前9時から始め午前中に終了 【内容】マップ11コースの中から今年度は6コースを歩く 【募集定員】定員なし ※参加者には毎回参加缶バッジ有	昨年作成したウォーキングマップを活用し、ウォーキングによる運動人口の裾野の拡大を図るべく実施。12月末で6回開催し、延べ280名が参加。参加者は、町内外からの参加がある。町のウォーキング大会として定着しつつある感がある。(本事業は県のウォーキング事業の19のまちを歩こう公認コースに認定されている)	C	
○訪問型ニュースポーツ体験事業(おじやまします! 体育指導員です)	【目的】従来の「来場型」のスポーツ、運動に参加しにくい人を対象に「訪問型」のスポーツ、運動指導を行い生涯スポーツ人口の裾野を広げる。 【期日】要請があれば調整の上随時 【内容】自治公民館、広場等で出来る簡易なニュースポーツを主にメニュー提示をし、募集する。 【対象】自治会老人クラブ、いきいきサロン、子ども会、親子内など	【成果】 本事業に取り組むことにより、今までの小学校親子会に加え、新たに「いきいきサロン」の皆さんに、スポーツ推進委員(旧体育指導員)指導によるニュースポーツ体験を利用いただき、生涯スポーツ人口の裾野を少しでも広げることができた。ニュースポーツをメニュー化して、町広報に掲載し、事業を町民の方へ知っていただくことにより、ニュースポーツ体験のきっかけづくりを推進した。 スポーツ推進委員指導によるニュースポーツ体験・体操 指導10件(12月末現在) 【課題】 利用者の大部分は、小学校親子会であり、今後、よりいっそう利用者層を広げていくためにも、本事業について、複数回にわたり町広報に掲載する等して、町民の方に本事業を周知していく必要がある。	C	・新規事業でニュースポーツは、年齢に応じたスポーツということで、必要とされる広い年齢層に参加を促してほしい。 ・良い取り組みだと思います。もっと広げていってほしい。 ・色々な場面で、参加・活動できるよう、もう少し宣伝して欲しい。

平成23年度 北栄町教育委員会の事務に関する各委員による点検評価表

(評価の観点)
 ①継続・単年
 ②対象者、参加者
 ③参加者の満足度
 ④予算措置
 ⑤ビジョンへの貢献度

(評価)
 A=目標を大幅に達成できた
 B=目標をいくらか超えて達成できた
 C=目標どおり達成できた
 D=目標を一部達成できなかった
 E=ほぼ全く達成できなかった

外部委員による事業評価

事業名	実施概要	成果と課題	総合評価	各委員の意見等
6-⑦公民館活動の推進				
生涯学習推進講演会の開催	<p>幅広い知識と経験を持つ講師を招いて講演会を開催し、夢に向かって努力し、目標を達成していく姿勢や、人と人とのきずなの大切さを学ぶことによって、生涯学習推進のきっかけとする。</p> <p>平成23年8月27日(土) 午後7時30分 大栄農村環境改善センター 「チャレンジ、世界へ、宇宙へ、未来へ」 NASA/JAXA宇宙飛行士候補生ファイナリスト 医学博士 江澤佐知子さん</p> 	<p>8/27開催、参加者56人 仕事を持っている世代の方でも来やすいよう夜間の開催としたが、その世代への周知が十分でなかった。 また、新聞等、報道関係をもっと上手に活用したい。</p>	E	<ul style="list-style-type: none"> 講演内容と告知の両方に工夫が必要。 講演内容を事前に把握し、対象者を明確にし、せっかくの講演をもっと多数の人に聞いてもらえるように周知してもらいたい。 何を目的としているのか、目指しているのかが、よく見えてこない。集客の方法を考えるべき。 内容も含め、対象者も考えた方がよい。
公民館講座の充実 (シニアクラブ・男性講座・女性講座・ピラティス講座・自治会生涯学習部長研修)	<ul style="list-style-type: none"> ●シニアクラブ 高齢者の学習活動と社会参加を促し健康と活力と生きがいを高めることを目的として、総合学習とコース別学習(パソコン、ニュースポーツ、歌謡、習字、ゆるゆるヨーガ、絵がみ、フラダンス)を毎月行う。 ●自治会生涯学習部長研修 生涯学習部長を対象として、地域活動の中で自治会の果たす役割について研修を行い、自治会の公民館活動を支援するために中央公民館が情報提供や相談の機能を発揮する機会とする。 ●女性講座 心身の老化が多い時期である30歳前後から60歳までの女性を対象として、元気で美しく年齢を重ね、生き生きと暮らすための一助とし、仲間づくりと地域活動への参加意識を高める。 ●男性講座 公民館との繋がりが少ない男性、特に50歳代より若い男性向けの講座を実施し、リーダーを育成、公民館の活用方法を広げる。 事業内容に実践的な講座を計画し、地域活動参加へのきっかけ、意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ●シニアクラブ 12月末の各学習会員は、総合59人、コース別136人、各学習参加率は総合4割、コース別7割。会員は随時募集している。参加する会員の学習意欲は高く、積極的に各学習に取り組んでいる。会員が高齢で体調・天候等の要因で参加率の向上は難しいが、社会参加の場になるよう呼びかけを行う。 ●自治会生涯学習部長研修 自治会長をはじめ自治会委員の参加を呼び掛け、地域ぐるみの取り組みとなるよう働きかける必要がある。生涯学習前講座の周知を合わせて行い、事業効果を高めたい。 ●女性講座 リーダー養成とサークル化を目標として実施するためには、安定した参加者の確保が課題。 ●男性講座 12月末の会員数は11人。6月～12月の間に6回事業を実施し平均参加人数は6人。会員は随時募集している。今年度は公民館の利用目的、活用方法を知っていただくため短時間で成果の見える実践的な講座を実施しているが、参加者の興味により参加状況が大きく変動する。会員増加のため広報活動の見直しと、今後は事業目的に沿ったリーダー育成等を取り入れた事業内容を行う。 	C	<ul style="list-style-type: none"> 女性講座に男性が、逆に男性講座に女性も参加することで、相互理解が深まるのではないかと感じている。 参加者が少ない。⇒募集定員が少ないのものもある。参加されている方だと感じている。講座によって人数を変更している。
なつかし写真の資料収集	<p>地域の行事、風水害、人物、建物等の古い写真を収集し、時代背景や内容を整理し、収集した写真は町の今昔を語る資料として保存する。</p>	<p>現在、町が保管する過去の広報写真等から資料収集を行っている。 21年度に町民から資料・情報提供をいただいたが、今後改めて呼びかけを行う予定。</p>	C	<ul style="list-style-type: none"> 収集した写真の利活用が不明確。 種別まんべんなくか? ⇒行事・風水害が多い 21～23(最終)収集行事→201枚収集 公民館ロビー展示 歴史で企画展を行う予定→今後も継続して収集 常設も考えているか? ⇒企画展としたい
北栄文芸の編集発行	<p><文芸誌を 4、7、10、1月の年4回発行> 幅広い年齢層において文芸に親しみ、文芸の芽を醸成する場として文芸作品を投稿していただき、文芸誌を刊行する。</p>	<p>4月に22号、7月に23号、10月に24号を発行し、1月に第25号発行予定。 毎回、一定の作品投稿はあるが、投稿者がほぼ固定されているため、新規投稿者の作品募集が必要。</p>	C	<ul style="list-style-type: none"> 前年度と同じ問題点がある、内容・選者の工夫が必要ではないか。 おもしろくないとの声有り。 新規の人をどうするのか? 小・中・高でも利用しては 継続して発行されている 小・中学生にも募集しているが、参加者は固定されている
由良川イカダレース大会の開催	<p>8月7日(日) 由良川を手づくりイカダで下り、楽しむことにより出場者と観覧者の一体感を生み、仲間と自然の大きさ、地域住民のふれあいと連帯感を高める。 小学生・中学生・自治会・一般職域の4部門でイカダのアイデアとタイムを競う。 実行委員会を中心に実施する。</p>	<p>8/7開催、出場28チーム、参加者260人。 出場チーム数は前大会と比較減少した。 今大会は観覧者増加のための方策として順位予想の応募イベントも行った。 大会を活用し地域に活気がでるよう、参加募集及びイベントの周知方法、大会企画の見直しを検討する。</p> <p>事業仕分け(5:1)改善して継続。由良川改修の推進、河川保全イカダの経費が多くかかる。子どもの減少⇒大会の変更を検討している</p>	C	<ul style="list-style-type: none"> 毎年微減しているため、企画の根本的なテコ入れが必要。 にぎやかなイベントとしては定着していて、楽しみにされている方も多い。
美術展の開催	<p>11月3日(木)～15日(火)予定 町民等を対象に9部門において作品を募集し、約2週間の会期で作品を展示する。</p>	<p>審査員、招待作家、無鑑査作家、一般公募による出展作品数102点。 全体的に漸減傾向にあるが、新規出展が15点あった。 引き続き関係各方面に広く呼びかけるとともに、潜在する作家の情報収集に努めて出展の呼びかけを行うことにより、文化、芸術活動の裾野を拡げて、出展者数の増加を図る必要がある。</p>	C	<ul style="list-style-type: none"> 参加可能分野を広げるなどの「敷居」の下がる工夫が必要。

平成23年度 北栄町教育委員会の事務に関する各委員による点検評価表




(評価の観点)
 ①継続・単年 ④予算措置
 ②対象者、参加者 ⑤ビジョンへの貢献度
 ③参加者の満足度

(評価)
 A=目標を大幅に達成できた D=目標を一部達成できなかった
 B=目標をいくらか超えて達成できた E=ほぼ全く達成できなかった
 C=目標どおり達成できた

◎外部委員による事業評価

事業名	実施概要	成果と課題	総合評価	各委員の意見等
○公民館まつりの開催	<p><作品展> 1月28日(土)~2月5日(日)予定 <芸能発表> 2月5日(日)予定 公民館活動の発表と鑑賞を通して、町民が集い交流をし親睦を深め、よりよい地域づくりと生涯学習を進める。</p>	<p>11月7日の第1回実行委員会で要項等決定し、出展作品・出演者募集中。 作品 261名 298点 63人(新規)⇒減少傾向にはある 芸能 284名 730人(参加者)</p>	C	<ul style="list-style-type: none"> ・年配の方は、公民館まつりを楽しみにしている方が多いと思う。 ・若い人たちは、公民館まつりの存在さえ知らない人も多い。
○文化教室等の成果還元活動推進	<p>文化教室活動の素晴らしさと、学んだ成果を地域に還元し、地域住民が芸術文化に親しむ機会をつくるため、各教室が講座及び展示・発表等の方法により活動を実施するための費用の助成を行う。</p>	<p>11月9日現在、10団体22事業、計66,000円助成を行った。各団体の自主企画で、福祉施設、高齢者施設、町内企業等で展示及び舞台発表を行い、自分たちの活動成果を地域還元している。 各団体の活動機運は向上しているが、活動を行う団体が限られているため助成金の縮小、廃止に向けて検討を行う必要がある。まんべんなく補助したい。 北条地区で行われていたもの。大栄地区では認識が低い。 1団体 1成果 3回まで補助⇒内容の見直ししている (例)ロビー展示3回→1回</p>	C	<ul style="list-style-type: none"> ・助成の金額が妥当かどうか検討してほしい。 ・地域間の工夫が必要である。 ・各地区類似団体の統一化は? =できていない。補助ある、なしがある。
○文化団体連絡協議会の活動支援	<p>文化団体連絡協議会員の交流、また、地域文化の振興を図るため、協議会が実施する様々な文化芸術活動に対する事業に対し費用の助成を行う。 会員1人100円→300円</p>	<p>年間を通じて中央公民館、中央公民館大栄分館のロビーでの作品展、9月18~25日に自主運営による第2回文化芸術合同発表会、11月に視察研修等を実施している。協議会会員の親睦、自己研鑽活動を進めながら、町内の文化芸術の裾野を広げる一助を担っている。 390人、36団体 30万円補助(年1回研修・ロビー展示・舞台発表・作品展示) ⇒H24各団体ごとに取り組んでもらう。</p>	C	<ul style="list-style-type: none"> ・展示・発表は文化団体の地元の還元なので必要だが、内容によっては研修・親睦への助成は不要ではないか。 ・発表の場になって、とても良いと思う。
○指定管理者まちづくりネットによる大栄分館の管理及び各種事業の実施	<p>指定管理委託料 1,143万5千円 大栄分館の管理運営業務のほか、子どもほくえい塾、中高生サークル夢塾、女性相談事業、各種講座、講演会等の事業実施。</p>	<p>民の力で地域住民のニーズに応えた事業を企画、推進していただいている。 また、毎月最終火曜日開催の生涯学習課関係合同会議に中央公民館と大栄分館も出席し、連携を図っている。 活性化している⇒子ども・保護者の出入りも増加。公民館本館の利用が行政的となっている一方、地域的な細かい活動を行っている。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・委託料がどうなのか分からないが、しっかりサポートしていただきたい。 ・本館はどうか? ⇒持ち場ごとに行い、保管して実施。 ・事業が考えられ、取り組んでいる。 ・北条から子どもも来て、利用されている。 ・ボランティアでなりたっているようで、金額を上げてもいいのではないか。

用語	解説
「Q-U」	<p>①「Q-U」は2つの心理検査から構成されています。「いごちのよいクラスにするためのアンケート(学級満足度尺度)」「やる気のあるクラスをつくるためのアンケート(学校生活意欲尺度)」この2つの心理検査から教師は子どもたち1人ひとりについての理解と対応方法、学級集団の状態と今後の学級経営の方針をつかむことができます。 ②「Q-U」は標準化された心理検査「Q-U」は発行前に総計3万人の児童・生徒を対象に事前検証を行っており、その結果日本テストスタンダード委員会の審査基準を満たした標準化された心理検査として認定を受けています。標準化されているとは、心理検査の内容が妥当であり、また、実施のたびに結果が大きくぶれない信頼性があることが、事前に検証されているということです。検査結果を判定する基準が統計的に明らかにされ、信頼性と妥当性が保証されているため、公的な資料としても活用することができます。</p>

	副町長	教育長	総務課	主務課	主管課	課長	長佐	係長	回	議	主査	資料No. 1
												

平成24年3月12日

北栄町長 松本昭夫様



特定非営利活動法人まちづくりネ
理事長 永田洋子



北栄町中央公民館大栄分館指定管理業務評価表の提出について

標記の件について、平成21年度、22年度、23年度（中間）の指定管理業務評価表を提出いたします。

北栄町中央公民館大栄分館 指定管理 業務評価表(平成21年4月1日～平成24年1月31日)

業務名	実施概要	成果と課題(自己評価)	評価の観点	自己評価	講評	総合評価
《分館の管理・運営に関すること》						
◎文書の受付・発送・保管に関すること	別紙文書一覧表のとおり	大栄分館の維持管理に必要な文書と事業実施関係の文書を分類して関係綴りとして保管している。今後保管場所と保存年限を明確にして保存する必要がある。	目標を大幅に達成できた 目標をいくらか超えて達成 目標どおり達成できた 目標を一部達成できなかった 目標が達成できなかった	A B C D E		A B C D E
◎契約関係(夜警員・コピー機・清掃(床、ガラス)・警備・消防関係)に関すること	別添綴りのとおり	年度初めにそれぞれの項目について文書で契約している。それにより年間管理を実施している。	目標を大幅に達成できた 目標をいくらか超えて達成 目標どおり達成できた 目標を一部達成できなかった 目標が達成できなかった	A B C D E		A B C D E
◎経理に関すること	別添実績報告のとおり	委託料だけの事業運営にとどまらず、NPOの持ち味を生かして助成金、補助金の取得に努め、事業内容を豊かにしている。経理については、2人の監査委員を選任して監査をいただいている。	目標を大幅に達成できた 目標をいくらか超えて達成 目標どおり達成できた 目標を一部達成できなかった 目標が達成できなかった	A B C D E		A B C D E
◎維持管理・軽微な修繕に関すること	別添修繕記録表のとおり	大栄分館は建築から40年経つ建物であり、漏水、雨漏りをはじめ、修繕箇所が増えている。特に雨漏りについては、抜本的改修が必要となっている。	目標を大幅に達成できた 目標をいくらか超えて達成 目標どおり達成できた 目標を一部達成できなかった 目標が達成できなかった	A B C D E		A B C D E
◎講座・講習会の開設に関すること	別添実績報告のとおり	「行って楽しい元気になる公民館」を目指しており、地域が元気になる事業の取り組みを行っている。特に町おこし、地域づくりの視点からの講演会、視察等を行っている。	目標を大幅に達成できた 目標をいくらか超えて達成 目標どおり達成できた 目標を一部達成できなかった 目標が達成できなかった	A B C D E		A B C D E
◎備品の管理に関すること	別添記録表のとおり	老朽化した備品を買い換えており、適正に管理している。	目標を大幅に達成できた 目標をいくらか超えて達成 目標どおり達成できた 目標を一部達成できなかった 目標が達成できなかった	A B C D E		A B C D E
◎窓口業務に関すること	・公民館利用申し込み ・施設利用料管理 ・社会体育・学校体育施設(大栄地区)の鍵貸出業務 ・役場各課が所轄するチケットの取り扱い	始業時間の午前8時30分には待ってもらうことなく窓口業務ができるよう、30分早く出勤し、トイレ、ロビー等の清掃をしている。窓口業務については、つねに親切、丁寧を心がけている。また、コピー、印刷機の使用についても、親切、丁寧に行い町民に喜ばれている。	目標を大幅に達成できた 目標をいくらか超えて達成 目標どおり達成できた 目標を一部達成できなかった 目標が達成できなかった	A B C D E		A B C D E
◎防火管理に関すること	別添防火管理関係文書のとおり	年2回の消防訓練、消防用設備等の点検、建築物等の自主点検を実施している。	目標を大幅に達成できた 目標をいくらか超えて達成 目標どおり達成できた 目標を一部達成できなかった 目標が達成できなかった	A B C D E		A B C D E
◎ロビー展示にかかること	町文化団体連絡協議会ロビー展の調整	年間を通してロビー展示が、途切れることなくできるよう、年度当初に町文化団体連絡協議会と協議をしている。また、隠れた町民の作品を発掘しロビー展示をおこなっている。	目標を大幅に達成できた 目標をいくらか超えて達成 目標どおり達成できた 目標を一部達成できなかった 目標が達成できなかった	A B C D E		A B C D E
◎公民館まつり・美術展の展示会場に関すること	別添綴りのとおり	公民館まつりの展示は、平成22年度から北条農村環境改善センターに一本化されたので、大栄分館においては公民館まつりの期間中は協賛事業を実施している。平成23年度は、子ども公民館まつりを実施した。	目標を大幅に達成できた 目標をいくらか超えて達成 目標どおり達成できた 目標を一部達成できなかった 目標が達成できなかった	A B C D E		A B C D E
《地域子ども教室推進事業に関すること》						

◎地域子ども教室推進事業(子どもほくえい塾)に関すること	別添実績報告のとおり	主に大栄分館を会場として年間を通して事業を行っている。北条地区からの参加者も増えている。今後新規の事業、指導者の発掘が必要である。	目標を大幅に達成できた	A		A
			目標をいくらか超えて達成	Ⓑ		B
			目標どおり達成できた	C		C
			目標を一部達成できなかった	D		D
			目標が達成できなかった	E		E
◎21世紀をつくる青少年育成事業(中・高校生サークル夢雲)に関すること	別添実績報告のとおり	10人程度のメンバーが年間を通して活動している。勉強と部活等で忙しい高校生の参加がだんだん難しくなっている。	目標を大幅に達成できた	A		A
			目標をいくらか超えて達成	B		B
			目標どおり達成できた	Ⓒ		C
			目標を一部達成できなかった	D		D
			目標が達成できなかった	E		E
◎町民向けの講座の開設に関すること	別添実績報告のとおり	町民のニーズに応じて、趣味講座等を開催しているが、3年間に新たな自主講座を5講座開設できた。また男性料理教室は参加希望者が多く、うれしい悲鳴を上げている。	目標を大幅に達成できた	Ⓐ		A
			目標をいくらか超えて達成	B		B
			目標どおり達成できた	C		C
			目標を一部達成できなかった	D		D
			目標が達成できなかった	E		E
自己評価総括					総合評価	総合評価
中央公民館大栄分館管理委託に係る目的に対する貢献度について	民間業者であるNPO法人まちづくりネットの能力を活かしつつ、地域住民に対する住民サービスの効果及び効率を向上させ、もって地域の福祉の一層の増進が図れたか。	少しでも多くの町民に公民館に来ていただけるよう、工夫しながら事業を行っているが、来館者が増えており、効果が出ていると感じている。	目標を大幅に達成できた	A		A
			目標をいくらか超えて達成	Ⓑ		B
			目標どおり達成できた	C		C
			目標を一部達成できなかった	D		D
			目標が達成できなかった	E		E

《添付資料》

- ・平成21年度事業報告書
- ・平成22年度事業報告書
- ・平成23年事業報告書「平成24年1月31日現在まで」
- ・資金管理確認実績確認の方法は？ すべて銀行口座で管理しており、監査委員が確認している。

3年間の自己評価

平成21年4月1日、半年の準備期間を終えて中央公民館大栄分館の指定管理がスタートしました。地域住民が立ち上げたNPOであり、注目されていたこともあって、少し気負いもありましたが、まず館内の清掃から取り組みました。最初に町民から声があがったのは「公民館がきれいになった」ということでした。主婦の目線で整理、整頓、清掃、草取りに取り組みました。対応は常に親切、丁寧、町民目線での対応を心がけました。公民館に行きやすくなったという声も事業実施に当たっては、私たちの思いもありますが、できるだけ町民のニーズを把握し、事業に取り入れて行くよう心がけています。町民のニーズが把握しやすいのも身近な町民が運営しているからこそでしょう。大栄分館の運営については、最小の経費で最大の効果が出ていると思っていますが、町民が集い、学び、語らう「たまり場」的施設は、身近な町民が運営するのが一番いい形ではないかと思っています。

平成21年度北栄町中央公民館大栄分館管理事業

北栄町中央公民館大栄分館

指定管理者 NPO法人 まちづくりネット

1 施設管理の目標

社会教育法 20 条に規定する公民館の目的に沿って、町民のための各種事業を実施し、町民の教養の向上、健康の増進等を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するとともに地域社会の健全な発展に貢献することとする。

2 大栄分館運営の目標

「行って楽しい、元気になる公民館」を目指す。

この目標を実現するため、「たまり場」「仲間づくり」の活動を中心において事業を実施する。

3 施設管理

- ・利用日 1月4日 から 12月28日
- ・利用時間 午前8時30分 から 午後10時
- ・勤務体制 理事6人が交替勤務
- ・職員勤務時間 午前8時～午後4時45分
- ・警備員勤務時間 午後4時30分～午後10時30分
- ・平日 月曜日～金曜日 午前2人体制 午後1人体制 夜間 1人警備員
- ・土・日曜日・祝祭日 一人体制 夜間 警備員

4 窓口業務

- ・大栄分館会議室等貸し出し
平成21年度使用人数 36,304人 (別紙)
- ・コピー機、印刷機利用者の対応
平成21年度利用者数 1,012人 (別紙)
- ・大栄地区社会体育・学校体育施設の鍵貸し出し
21年度鍵貸し出し者数 2,154人 (別紙)

5 主な事業

事業名	実施状況	備考	
中高生サークル「夢雲」	1 定例会 毎週水曜日 午後6時から8時 2 各事業は、別紙のとおり	一部事業を鳥取県職員 互助会の補助金で実施	
子どもほくえい塾	週末日、長期休業中の体験活動を町民有志のボランティアの指導・協力により実施 各事業は、別紙のとおり	「放課後こどもプラン」 の一環として実施	
家庭菜園体験講座	2年間コース 2年目 7人参加 じゃがいもの管理 夏野菜の植え付け・管理	圃場管理 収穫ほか	
文化教室	各団体（童謡唱歌・三味線等）が開催 32団体 文化団体連絡協議会がロビー展を開催 実施状況別紙 公民館まつり出展・出演		
新規事業	女性相談	毎月第1・3月曜日 女性相談を実施	継続
	まちづくり講演会	1 「地域の生き残り戦略」 日時 平成21年6月10日（水）午後7時～ 講師 隠岐 海士町長 山内道雄 150人参加 2 「ふるさと鳥取の魅力と地球温暖化防止」 日時 平成21年11月14日（土）午後1時30分～ 講師 福井宏一郎（元駐ブルガリア大使） 60人参加	地域づくり全国協議会 助成により実施
	かしこい消費者講座	1 「買い物・気をつけてこんなトラブル」 日時 平成21年10月17日（土）午後1時30分～ 講師 司法書士 濱川康夫 32人参加	鳥取県消費生活センター 一委託金で実施
	パート4まで	2 「わたしにとって本当に必要な保険とは」 日時 平成21年11月20日（金）午後7時30分～ 講師 ファイナンシャルプランナー 福井雅人 32人参加 3 「あなたにとって必要な医療保険・がん保険とは」 日時 平成22年1月23日（土）午後1時30分～ 講師 ファイナンシャルプランナー 福井雅人 参加人数 27人 4 「食べることは生命をつくること」 日時 平成22年2月20日（土）午後1時30分～ 講師 元生活改良普及員 川瀬滋子 参加人数 47人	金融広報委員会補助金 で実施
	男性の料理教室	1 「旬の魚をおいしく食べよう」 日時 平成21年11月11日（水）午前10時～ 講師 赤碕漁業組合婦人部（4人） 10人参加	講師に専門職（料理人） を依頼

<p>4回シリーズ</p>	<p>2「万能酢を使って料理名人」 日時 平成21年11月24日(火) 午前10時～ 講師 居酒屋「あぜくら」大村日出輔 15人参加</p> <p>3「そば打ち体験」 日時 平成21年12月18日(金) 午前10時～ 講師 野田工房「そばの花」岩本昭一他4人 29人参加</p> <p>4「中華料理に挑戦しよう」 日時 平成22年1月19日(火) 午前10時～ 講師 北栄町内 中華「北京」 料理人 18人参加</p>	
<p>お菓子づくり講座 4回シリーズ</p>	<p>1「おいしいマフィン作ってみよう」 日時 平成21年5月10日(日) 午後1時30分～ 講師 管理栄養士 木内美香 10人参加</p> <p>2「モーモーアップサイドダウンケーキ」 日時 平成21年8月2日(日) 午後1時30分～ 講師 モーモーカウイークラブ員 15人参加</p> <p>3「米粉で作るシフォンケーキ&クッキー」 日時 平成21年9月6日(日) 午後1時30分～ 講師 米夢マイムのみなさん 15人参加</p> <p>4「チョコレートケーキ作りましょう」 日時 平成21年11月15日(日) 午後1時30分～ 講師 管理栄養士 木内美香 10人参加</p>	<p>若い人が参加しやすいよう託児付き講座</p> <p>「食のみやこ鳥取県」の講師派遣事業を活用</p>
<p>地元野菜を使った料理教室 4回シリーズ</p>	<p>1「おいしいいちごジャム作りのポイント」 日時 平成21年6月16日(火) 午後1時30分～ 講師 東伯農業改良普及所普及主幹 福永八千代 参加人数 10人</p> <p>2「夏野菜をまるごと食べよう」 日時 平成21年7月14日(火) 午後1時30分～ 講師 東伯農業改良普及所普及主幹 福永八千代 参加人数 15人</p> <p>3「万能ドリンクしそジュースを作ろう」 日時 平成21年7月28日(火) 午後1時30分～ 講師 福光正子 参加人数 13人</p> <p>4「作って食べよう郷土料理・生かそうジゲの味」 日時 平成21年12月1日(火) 午前10時～ 講師 県栄養士会 河本順子 参加人数 17人</p> <p>5「作って食べよう郷土料理・次世代に伝承しよう」</p>	<p>身近な野菜を使った料理教室</p>

	<p>日時 平成22年3月30日(火) 午前10時～</p> <p>講師 県栄養士会 河本順子</p> <p>参加人数 8人</p>	
手づくり 広場	<p>1 「クラフト箸づくり」</p> <p>講師 杉上潤子・坂本敬子・浜口幸枝</p> <p>日時 平成21年10月26日(月)～ 平成22年3月29日まで</p> <p>11回開催 延べ参加者計 74人</p> <p>2 「布ぞうりを作しましょう」</p> <p>講師 北栄町曲 田中春義・福光正子</p> <p>日時 平成22年2月8日(月)～ 平成22年3月16日(火)まで</p> <p>3回再開催 延べ参加者計 24人</p> <p>3 「手編みでベストを作しましょう」</p> <p>講師 宮本文江</p> <p>日時 平成22年2月15日(月)～ 平成22年3月29日(月)まで</p> <p>4回開催 延べ参加者計 25人</p> <p>総参加人数 123人</p>	10月から開設
ロビー展 示	町文化団体連絡協議会の展示及び自主企画展示の実施 (別紙のとおり)	
定例会の 開催	毎週水曜日実施 21年度44回開催	

平成21年度 会議室等使用状況

	第1会議室			視聴覚室			講堂			礼法室			娯楽室			第3会議室			第2会議室				調理室			その他						
																			一般利用			こども学級										
	日数	団体数	人数	日数	団体数	人数	日数	団体数	人数	日数	団体数	人数	日数	団体数	人数	日数	団体数	人数	日数	団体数	人数	日数	人数	日数	団体数	人数	日数	団体数	人数			
4月	26	38	321	21	26	222	17	20	489	17	21	139	9	11	75	26	27	113	11	11	243	25	555	4	4	50						1022
5月	20	35	305	13	15	107	16	18	269	13	14	100	15	18	111	24	24	85	5	5	68	23	604	2	2	20						1100
6月	24	32	252	23	26	206	22	25	589	16	20	183	15	15	120	25	25	61	3	4	46	26	731	2	2	14						1204
7月	25	38	385	23	28	170	23	25	610	15	17	142	14	18	151	20	20	80	6	7	118	26	717	8	9	108						1263
8月	23	30	248	15	17	135	19	24	493	17	19	200	12	14	195	12	12	31	5	5	57	26	375	5	5	77						907
9月	26	40	362	22	29	221	21	22	408	11	12	128	13	16	113	17	17	50	8	8	153	22	530	4	5	77						1047
10月	27	44	339	23	31	232	19	19	326	11	14	136	13	13	92	13	13	39	4	4	33	26	531	8	8	114						1084
11月	23	33	312	22	29	212	16	18	299	9	10	149	16	17	108	9	9	26	14	14	158	23	487	11	12	213						978
12月	20	28	228	14	17	158	15	16	238	13	14	138	10	14	92	4	4	22	8	9	87	23	389	9	9	119						859
1月	18	25	194	16	18	118	16	17	319	15	16	208	13	14	80	6	6	23	7	7	131	23	424	4	5	109						902
2月	14	19	187	20	30	216	15	19	669	22	27	209	15	18	115	5	5	19	14	14	157	23	450	3	3	18						976
3月	26	39	339	21	30	222	18	20	512	18	27	296	15	15	130	10	10	36	16	20	310	26	391	6	6	63						1328
計	272	401	3472	233	296	2219	217	243	5221	177	211	2028	160	183	1382	171	172	585	101	108	1561	292	6184	66	70	982	0	0				12670

総合計人数 36,304人

平成21年度 北栄町中央公民館大栄分館 コピー利用状況

月別	利用人数
4月	71
5月	59
6月	52
7月	77
8月	84
9月	100
10月	84
11月	78
12月	62
1月	86
2月	120
3月	139
計	1012

平成21年度 北栄町中央公民館 大栄分館
 体育館別貸し鍵利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大栄体育館	33	42	49	43	42	34	39	44	56	66	61	50	559
大栄ふれあい会館	13	4	5	9	6	7	9	10	3	4	4	11	85
勤労者体育センター	25	17	20	14	16	15	27	39	24	27	25	25	274
大誠体育館	10	16	18	19	17	20	21	15	19	20	21	18	214
大栄野球場	2	12	21	23	15	16	14	0	1	0	0	2	106
大栄テニス場	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
大栄小学校体育館	12	21	26	22	2	12	6	21	19	19	25	13	198
大栄運動場	2	4	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	10
大栄武道館	27	28	30	29	24	25	22	22	22	21	21	25	296
大栄中学校体育館	8	8	12	13	8	13	13	23	16	19	19	19	171
体育館清掃	21	18	21	22	21	18	21	19	19	19	19	22	240
計	154	170	204	194	153	160	172	193	179	195	195	185	2154

7
10

21世紀をつくる青少年育成事業中高生サークル「夢雲（ムーン）」

1 目的

中高生サークル「夢雲（ムーン）」としてサークル活動に取り組み、週1回の定例会や、休日・長期休業中におけるボランティア活動への参加、子ども達を対象とした体験活動の指導を通して、地域に根ざした中学・高校生世代の地域活動リーダーの育成を図る。

2 会 員 9名

3 実施事業

活 動	内 容	実施時期
中高生と遊ぼうデー	小学生との異世代間交流を図るとともに、リーダーとしての資質向上を目指す。 1 七夕まつり・ドミノ・たこやき 20人参加 2 百人一首かるた取り大会 31人参加 3 ダンボール箱でつくるピザ作り・カートンドッグ作り 28人参加 4 「夢雲サンタがやってくる」プレゼントを持って各家を訪問（4日間・11コース）172人へプレゼント	7月4日（土） 8月4日（火） 11月14日（土） 12月20日（日） ～23日（水）
海岸清掃	北栄町内海岸線の清掃作業を行う	9月27日（日）
夏季能力向上野外活動	船上山少年自然の家において、野外でのゲームや炊事等を通じて会員の資質向上を目指す。	8月11日（火） ～12日（水）
由良川イカダレース大会に参加	夏の風物詩である北栄町イカダレース大会に参加し、大会を盛り上げるとともに夢雲の会員増加を狙ったPRを行う。	8月2日（日）
ガザニア花壇の草取り	大栄生涯学習まちづくり研究会の活動に参加し、コナシロード、由良駅前、前川土手の花壇の草取りを行い、きれいな環境をととのえる。	4月～10月 9回
中部地区少年少女のつどい	仲間づくりのグループ活動・風車なぜなにウォーク・ペットボトル風車づくりなどを行う。	5月10日（日）
すいか・ながいも健康マラソン運営ボランティア	スイカ切りの後方部隊でスイカ渡しをする。	7月5日（日）
北栄砂丘まつり運営ボランティア	ぶどうの種飛ばしゲームやクイズラリー等の運営に協力する。	8月23日（日）
日赤歳末助け合い募金ボランティア	赤十字奉仕団大栄支部の活動に参加し、東宝ストア前で街頭募金を行う。	12月5日（土）
由良川清掃ボランティア	ホテルの会の活動に参加し清掃活動を行う。	12月5日（土）
船上山で雪遊びボランティア	船上山で雪遊びの活動に参加し、指導者のサポートを行う。	H22年1月30日（土）
夢雲はばたき会	3年生全員卒業式をひかえ「はばたき会」開催	2月17日（水）
子どもほくえい塾協力ボランティア	地域子ども教室推進事業「子どもほくえい塾」において、事業が円滑に進むよう指導者のサポートを行う。	随時

放課後子ども教室推進事業子どもほくえい塾

1 目 的

平成16年度から20年度まで継続実施してきた地域こども教室推進事業「地域教育再生プラン」により、こどもたちのより安全な居場所づくり、体験活動に取り組める居場所を中央公民館・中央公民館大栄分館に求め、ふるさと北栄町を舞台に、放課後や週末、長期休業中などの様々な体験活動を、町民有志ボランティアの指導協力によって行ってきた。平成21年度もこれを中央公民館大栄分館において継続し、地域の子も達を地域の大人が見守り、育て、ふるさと北栄町に愛着を持つ健全な青少年を育成するとともに、地域の大人たちのこれまでの生涯学習の成果を子どもたちに伝承する。

2 実施事業

平成21年4月1日～12月28日

No	事業名	場 所	指 導 者	回数	参 加 延人数	保護者 延人数	指 導 者 延人数	備 考
1	囲碁教室	大栄分館	囲碁クラブ員	48	385	3	148	毎週 土曜日
2	ふるさと花植え隊	コナンロード 前川土手 駅前通り	大栄生涯 学習まち づくり研 究会	15	58	7	64	4～10月 指定した 土曜日
3	子ども会とお年寄りの交流	大島 緑ヶ丘	同上	2	27	16	5	5月24日 (日)
4	おりがみ教室	文化センター 大栄分館	西村玲子	7	28	9	7	指定した 土曜日
5	たけのこ掘り	西高尾周 辺	西高尾自 治会	1	10	8	6	4月25日 (土)
6	田植えを手でやってみる会	同上	同上	1	25	20	7	5月16日 (土)
7	稲刈りを手でやってみる会	同上	同上	1	21	7	14	10月3日
8	脱穀を手でやってみる会	同上	同上	1	23	14	13	11月1日
9	ちぎり絵教室	中央公民館談話室	梶田栄子 他	5	37		15	指定した 土曜日

No.	事業名	場所	指導者	回数	参加 延人数	保護者 延人数	指導者 延人数	備考
10	赤十字運動街頭 キャンペーン	東宝スト ア他	大栄赤十 字奉仕団	4	16		16	5月 12月
11	ホテル観察会	妻波・大谷 周辺	吉野昭則 他	1	16	11	3	6月6日
12	野鳥観察会	由良川河 口周辺	野鳥の会	1	4	7	3	12月5日
13	絵本の読み聞か せ	ふれあい 会館	つくしん ぼ	6	100	8	10	指定した 土・日曜日
14	ワリバシ回収隊	大栄分館	北栄町婦 人会	4	3	9	49	指定した 土・日曜日
15	ようちえん広場	北条幼稚 園	幼稚園職 員他	4	120	63	19	指定した 土曜日
16	陶芸教室	中央公民 館民芸実 習室	陶芸教室 会員	2	38	11	19	6月6日 7月25日
17	茶道教室	中央公民館 談話室	谷口陽子 他	8	16		35	指定した 土曜日
18	廃油ローソク作 り	中央公民館 大栄分館	環境政策 課	2	25	28	4	6月6日 6月13日
19	太陽光発電実験 と工作	中央公民館 大栄分館	福田忠明	2	15	3	2	7月26日 7月29日
20	料理教室 (大栄地区)	大栄健康 増進セン ター	大栄地区 食生活改 善推進員	6	118	43	48	指定した 土曜日
21	料理教室 (北条地区)	北条健康 福祉セン ター	北条地区 食生活改 善推進員	6	118	5	45	同上
22	中高生とあそぼ うデー	大栄分館 北栄町内	中高生サ ークル夢 雲	14	218	33	56	指定した 土曜日他
23	星を見る会	大栄小学 校駐車場	前田佳秀	1	8	7	1	8月5日

No.	事業名	場所	指導者	回数	参加 延人数	保護者 延人数	指導者 延人数	備考
24	切り絵教室	大栄分館	長柄敏子	1	4		2	8月16日
25	ロープで遊ぼう	大栄分館	福田京子	1	9		2	10月10日
26	炭焼き体験	上種炭焼き窯	緑友の会	1	5	2	7	11月7日
27	なたね油料理教室	北条健康福祉センター	環境政策課	1	9	12	2	11月21日
28	フラワーアレンジメント	大栄分館	安藤美智子	1	15	7	2	12月5日
29	生キャラメルづくり	大栄分館	杉川一二美	1	16	2	1	12月13日
30	ジュニアスポーツ	海洋センター	北栄町体育指導員	21	261	58	43	指定した土曜日
31	書初め大会	大栄分館	大栄書道愛好会	1	19		7	H22年 1月17日
32	船上山で雪遊び	船上山	永田裕一 他 中高生サークル 夢雲	1	16		6	H22年 1月30日
33	エコフラフトで籠作り	大栄分館	杉上潤子	2	19	11	6	H22年 2月13日 3月27日
34	あったかランプ作り	大栄分館	進木富夫	1	11		1	3月14日 (日)
35	しいたけ菌植え&ネイチャーゲーム	西高尾桜会館	西高尾自治会 吉田	1	9	9	12	2月27日 (土)
計				175	1822	419	680	

子どもほくえい塾ボランティアカード制度

1、目的	週末日や放課後、長期休業中の子どもたちのボランティア活動の振興普及を目指し、活動に一定回数の参加を果たした子どもを表彰し、褒めることで子どもたちの自発的なボランティア精神を育む。
------	---

		小学校	中学校
2、実施状況	1、表彰対象者	366人	76人
	2、地区別活動（年間）		
	(1)地区数	26子ども会	13生徒会
	(2)回数	149回	40回
	(3)参加人数(子ども)	1,839人	321人
	(4)参加人数(保護者等)	1,590人	271人

平成21年度中央公民館大栄分館 ロビー展

月 別	前 期 部 門	後 期 部 門
4月	写真愛好会・生け花教室合同展	鳥取県生活百景
5月	野草・俳画教室合同展	美術協会作品展
6月	書道愛好会・写真愛好会合同展	自主企画 男女共同参画週間企画展
7月	流木展・社会を明るくする強調月 間事業合同展	はたおり教室作品展
8月	書道愛好会作品展	写真愛好会作品展
9月	俳画教室・手芸教室合同作品展	絵手紙教室、 自主企画 大好きなおじいちゃん・おばあちゃん似 顔絵合同作品展
10月	書道愛好会作品展	美術協会作品展 自主企画 小学生夏休み自由研究作品展示
11月	園芸愛好会作品展	写真愛好会・生け花教室合同作品展
12月	俳画教室・絵手紙教室合同展	北栄町なつかし写真展
1月	第14回新春合同作品展	台湾との交流展 公民館まつり（1月30日～2月7日）
2月	公民館まつり（1月30日～2月7日） 松本和樹イラスト展 （2月8日～2月15日） こどもほくえい塾・夢雲活動パネ ル展（2月10日～2月15日） こどもほくえい塾（ちぎり絵・書 初め大会作品展（2月8日～）	老人クラブ作品展
3月	第6回合同書道展	和紙あかり展 ～こどもと大人のおとぎの世界～ こどもほくえい塾「あったかランプ」作 品も展示

ロビーの一角に常設展示（平成21年7月～）

- ・ 北栄町立大栄小学校・大栄中学校の掲示板を設置

平成22年度事業報告書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

特定非営利活動法人まちづくりネット

1 事業の成果

町民のための各種の事業を実施し、町民の教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進、地域社会の健全な発展に貢献した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	日時、場所等	受益対象者	事業費
中央公民館大栄分館の管理運営 (詳細は別紙)	施設の管理運営	通年 中央公民館大栄分館	町民	11,244 千円
	町民のための講座開設	通年 中央公民館大栄分館	町民	906 千円

(2) その他の事業

なし

平成 22 年度北栄町中央公民館大栄分館管理事業

北栄町中央公民館大栄分館

指定管理者 NPO 法人 まちづくりネット

1 施設管理の目標

社会教育法 20 条に規定する公民館の目的に沿って、町民のための各種事業を実施し、町民の教育の向上、健康の推進等を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するとともに地域社会の健全な発展に貢献することとする。

2 大栄分館運営の目標

「行って楽しい、元気になる公民館」を目指す。

この目標を実現するため、「たまり場」「仲間づくり」の活動を中心において事業を実施する。

3 施設管理

- ・利用日 1月4日 から 12月28日
- ・利用時間 午前8時30分 から 午後10時
- ・勤務体制 理事6人が交代勤務
- ・職員勤務時間 午前8時 ~ 午後4時45分
- ・警備員勤務時間 午後4時30分~午後10時30分
- ・平日 月曜日~金曜日 午前2人体制 午後1人体制 夜間1人警備員
- ・土・日曜日・祝祭日 1人体制 夜間 警備員

4 窓口業務

- ・大栄分館会議室等貸し出し

平成22年度使用人数	39,116人 (別紙)
内訳	
	会議室利用者 30,366人
	コピー利用者 1,362人
	体育施設貸し出し 2,193人
	ロビー展来館者 2,478人
	事務室来館者 2,717人

平成22年度北栄町中央公民館大栄分館事業実績

1 主催事業・講座

事業名	内 容	場 所	時期(回数)	参加者
(1) 中高生サークル「夢雲」	サークルでのボランティア活動や自主活動を行い、中高生の地域リーダーを育成する。 別紙	大栄分館	毎週日曜日 定例会及び必要に応じて開催	町内中高生 対象
(2) 子どもほくえい塾	放課後や休日を活用した子どもたちの体験活動を、地域住民の協力で実施する。 別紙	大栄分館 ほか町内各施設	放課後 週末日 長期休業中	小・中学生
(3) 女性のための相談事業	生き方、家族や夫婦のこと、人間関係などの相談を受ける。 相談件数27件	大栄分館	毎月第1・第3 月曜日	女性と町民
(4) まちづくり講座	講師 NPO法人全国生涯学習まちづくり協会 理事長 聖徳大学 福留強教授 ・「今わたしたちに必要なものはなん だろう」 北栄町の現状を考え全国の先進事例 について学ぶ。	大栄分館	6月5日(土) 午後7時30分～	64人
①もっとすてきな北栄町に	ワークショップ(グループ討議) ・まちづくりに参画してみよう ・もてなしの心あふれるまちを作ろう ・地域ぐるみで子どもを育てよう ・「創年」は生涯現役で生きよう	大栄分館	6月6日(日) 午前9時30分～	22人
(5) まちおこし講演会	水木しげるロード熱闘記 講師 境港市観光協会会長 榊田知身氏 まちおこしを学び、北栄町の活性化を図る	大栄分館	9月25日(土)	63人
(6) まちづくりを楽しもう	ボランティアガイドについて学ぶ			
	①水木しげるロードと米子の下町を歩いて みよう	境港市・米子市	10月16日(土)	17人
	②コナンに会える町の町歩きを楽しもう	町内(由良宿)	10月30日(土)	8人
	③城下町鹿野をボランティアガイドと歩こう	鳥取市鹿野	11月20日(土)	17人
(7) 暮らしの講座				
①相続と遺言の話	普段接することがなく、あまり知らない 相続問題について学習する。 講師 司法書士 濱川 康夫氏	大栄分館	5月15日(土) 13時30分から	38人
②神戸税関に行って輸入物 品について学習しよう	外国で生産された物品があふれている 現状です。輸入物品の本物、偽物、 安全性を学習する。	神戸市中央区 神戸税関他	7月12日(月)	37人
③EM菌講座	環境を浄化するといわれているEM菌につ いて学習する。 講師EM自然循環システムズ渡部敏樹氏	大栄分館	10月9日(土)	27人

事業名	内 容	場 所	時期(回数)	参加者
④消費者講演会	消費者主役のいきいき人生 笑いで心身を鍛え悪質商法から身を守ろう。 講師 大西金吾氏(新潟県在住)	大栄分館	11月6日(土)	80人
⑤環境講演会	菜の花プロジェクトの先進地滋賀県 から学び、これから取り組むべき 環境活動について考えます。 講師 藤井絢子氏(滋賀県在住)	大栄分館	2月26日(土)	60人
8)料理教室				
①男性料理教室				
日曜日コース	比較的若い男性を対象に開催する。 託児付き 伝統料理など	大栄分館	4月～12月	83人
火曜日コース	在宅の男性を対象に開催する。 料理レパトリーを広げる	大栄分館	6回開催	
②料理教室				
日曜日コース	比較的若い人を対象に開催する。 託児付き お菓子作り 伝統料理など	大栄分館	4月～3月	161人
火曜日コース	在宅の女性を対象に開催する。 伝統料理 地産地消料理	大栄分館	12回開催	
(9)健康ウォーキング				
ウォーキングの基本	座学と実践	大栄分館	4月6・17日	36人
	歩き方の基本・ストレッチ 靴の選び方、履き方など	町内	5月11・18日	43人
(10)手づくり広場				
①和紙あかりランプ作り	身近な材料と県産和紙を使いランプ をつくり生活を楽しむ	大栄分館	4月22・23日 7月9・10日 11月15・16日	15人 27人 19人
②ピーズ教室	おしゃれなアクセサリを作ろう	大栄分館	7月6・13日	13人
③寄せ植え教室	お正月花の寄せ植え	大栄分館	12月6・7日	37人
(11)公民館まつり協賛事業				
①喫茶コーナーとチャリティバザー	町民の手づくり品の販売と無料喫茶	大栄分館	1月29日～2月6日	64人
②手芸実習コーナー	手芸等の体験実習により仲間づくりを行う			

2 町民および他の機関との共催事業

事業名	内 容	場 所	時期(回数)	参加者
(1)地球の砂地・乾燥地農業の現状	由良宿在住の方と共催	大栄分館ロビー	4月17日～29日	—
(2)シベリア強制抑留体験の苦勞を語り継ぐ集い	由良宿在住の方と共催	大栄分館講堂	5月15日(木)	49人
(3)鳥取の美術入門講座	鳥取県立博物館と共催 とっりのアーティストをご紹介&アート なカルタとりゲームを楽しもう	大栄分館	6月20日(日)	32人
(4)和紙あかりとシャンソンの夕べ	手づくり広場の和紙あかりランプの 制作者が実行委員になり開催	大栄分館 和紙あかりランプ		
・和紙あかりとシャンソンの集い	歌手 柳井沙羅	講座受講者作品	8月28日(土)	102人
・和紙あかりとアカペラを楽しみましょう	合唱団こさじ		8月29日(日)	70人
・和紙あかりと雪女(怪談)のお話	朗読の会花みずき	129点	8月30日(月)	30人

事業名	内容	場所	時期(回数)	参加者
(5) マンガ寺子屋	明治大学商学部水野地域活性化鳥取班と提携し開設	大栄分館ロビー	9月4日～	34人
	・大栄分館ロビーにマンガ寺子屋開設 オープニングの式典 ロビー 町長他関係者 19名参加			
	・町内金融機関等事業所に「名探偵コナン」を配 ・マンガ文化講演会 講師 明治大学商学部教授 水野勝之	町内金融機関 大栄分館第2会議室	11月7日(日)	
(6) おじいちゃんとおばあちゃんの似顔絵展	町内7保育所と連携し実施 作品144人	大栄分館ロビー	9月1日～14日	
(7) 大栄小学校夏休み自由研究作品の展示	大栄小学校と連携し実施	大栄分館ロビー	9月29日～10月19日	
(8) 学校給食展	学校給食センターと連携し実施	大栄分館ロビー	1月30日～2月6日	

平成22年度中央公民館大栄分館ロビー展示

月 別	前 期	後 期
4月	写真愛好会・生け花教室合同展	地球の砂地・乾燥地農業の現状展
5月	野草・俳画教室合同展	美術協会作品展
6月	書道愛好会・写真愛好会合同展	TCC流木展
7月	社会を明るくする運動展	書道愛好会作品展
8月	写真愛好会作品展	パッチワーク教室作品展
9月	おじいちゃん、おばあちゃんの似顔絵展	絵手紙教室・やきもの愛好会合同作品展
10月	書道愛好会作品展	美術協会作品展 大栄小学校夏休み自由研究作品展
11月	園芸愛好会・絵手紙教室合同作品展	写真愛好会・生け花教室合同作品展
12月	俳画教室作品展	和紙あかり展
1月	テツモトヒロミイラスト展	手づくり教室作品展
2月	写真愛好会・手芸教室合同作品展	老人クラブ作品展
3月	歴民收藏品展	書道教室作品展

21世紀をつくる青少年育成事業中高生サークル「夢雲（ムーン）」

1 目的

中高生サークル「夢雲（ムーン）」としてサークル活動に取り組み、週1回の定例会や、休日・長期休業中におけるボランティア活動への参加、子ども達を対象とした体験活動の指導を通して、地域に根ざした中学・高校生世代の地域活動リーダーの育成を図る。

2 会員 10名

3 実施事業

活 動	内 容	実施時期
中高生と遊ぼうデー	小学生との異世代間交流を図るとともに、リーダーとしての資質向上を目指す。 1 レクリエーションとクッキーづくり 11人参加 2 七夕まつりとレクリエーション 11人参加 3 レクリエーションとたこ焼きづくり 8人参加 4 ケーキづくりと昔のあそび 15人参加 5 「夢雲サンタがやってくる」プレゼントを持って各家を訪問（5日間・13コース）201人へプレゼント	6月27日（日） 7月3日（土） 10月31日（日） 12月5日（日） 12月19日（日） ～23日（木）
山陰まちなかオーラルウエイズ参画	地域と子どものための体験イベント15店舗のうち、わなげとスカットボールを担当する。	5月2日（日）
海岸清掃	北栄町内海岸線の清掃作業を行う。	5月16日（日）
由良川イカダレース大会に参加	夏の風物詩である北栄町イカダレース大会に参加し、大会を盛り上げるとともに夢雲の会員増加を狙ったPRを行う。	8月1日（日）
ガザニア花壇の草取り	大栄生涯学習まちづくり研究会の活動に参加し、コナンロード、由良駅前、前川土手の花壇の草取りを行い、きれいな環境を整える。	4月～6月 3回
中部地区少年少女のつどい	仲間づくりのグループ活動・カヌー体験・グラウンドゴルフ・バーベキューなどを行う。	6月6日（日）
すいか・ながいも健康マラソン運営ボランティア	スイカ切りの後方部隊でスイカ渡しをする。	7月4日（日）
福祉体験ボランティア	保育所での保育体験ボランティアに参加する。	8月2～5日
北栄砂丘まつり運営ボランティア	ぶどうの種飛ばしゲームやクイズラリー等の運営に協力する。	8月22日（日）
日赤歳末助け合い募金ボランティア	赤十字奉仕団大栄支部の活動に参加し、Aコープ大栄店前で街頭募金を行う。	12月12日（日）
子どもほくえい塾協力ボランティア	地域子ども教室推進事業「子どもほくえい塾」において、事業が円滑に進むよう指導者のサポートを行う。	随時

平成22年度放課後子ども教室推進事業《子どもほくえい塾》実績

1 目 的

平成16年度から21年度まで継続実施してきた地域こども教室推進事業「地域教育再生プラン」により、こどもたちのより安全な居場所づくり、体験活動に取り組める居場所を中央公民館・中央公民館大栄分館に求め、ふるさと北栄町を舞台に、放課後や週末、長期休業中などの様々な体験活動を、町民有志ボランティアの指導協力によって行ってきた。平成22年度もこれを中央公民館大栄分館において継続し、地域の子も達を地域の大人が見守り、育て、ふるさと北栄町に愛着を持つ健全な青少年を育成するとともに、地域の大人たちのこれまでの生涯学習の成果を子どもたちに伝承する。

2 実施事業

平成22年4月1日～23年3月31日

No	事業名	場 所	指 導 者	回数	参 加 延人数	保護者 延人数	指導者 延人数	備考
1	囲碁教室	大栄分館	囲碁クラブ員	48	320	2	140	毎週 土曜日
2	ふるさと花植え隊	コナンロード 前川土手 駅前通り	大栄生涯 学習まち づくり研 究会	12	24	192	59	4～10月 指定した 土曜日
3	たけのこ掘り	西高尾周 辺	西高尾自 治会	1	11	9	7	4月24日 (土)
4	牛乳パックでつくろう	大栄分館	西村玲子	1	7	1	1	5月8日 (土)
5	田植えを手でやってみる会	西高尾周 辺	西高尾自 治会	1	13	10	10	5月15日 (土)
6	稲刈りを手でやってみる会	同上	同上	1	15	4	9	10月3日 (日)
7	脱穀を手でやってみる会	同上	同上	1	16	4	12	10月30日 (土)
8	ちぎり絵教室	中央公民 館談話室	榊田栄子 他	5	31		15	指定した 土曜日
9	赤十字運動街頭 キャンペーン	Aコープ大 栄店他	大栄赤十 字奉仕団	3	8		24	5月 12月
10	ホテル観察会	妻波・岩坪 周辺	吉野昭則 他	1	10	7	2	6月12日 (土)
11	ちまきづくり	大栄分館	エプロン 会	1	11		5	6月13日 (日)

No	事業名	場 所	指 導 者	回数	参 加 延人数	保護者 延人数	指導者 延人数	備考
12	ウォーキングと 楽しいネイチャー ゲーム	お台場公 園	岩本龍司	1	12	4	1	6月20日 (日)
13	ようちえん広場	北条幼稚 園	幼稚園職 員他	4	76	43	16	指定した 土曜日
14	陶芸教室	中央公民館 民芸実習室	陶芸教室 会員	2	26	10	15	5月8日 6月26日
15	太陽光発電実験 と工作	中央公民館 大栄分館	福田忠明	2	27	13	2	7月28日 7月31日
16	料理教室 (大栄地区)	大栄健康増 進センター	大栄地区 食生活改 善推進員	6	115		52	指定した 土曜日
17	料理教室 (北条地区)	北条健康福 祉センター	北条地区 食生活改 善推進員	6	82		34	同上
18	茶道教室 (大栄会場)	大栄分館	吉田聡美	9	43	4	16	同上
19	中高生とあそぼ うデー	大栄分館 北栄町内	中高生サ ークル夢 雲	9	242	4	50	指定した 土曜日他
20	星を見る会	大栄小学 校駐車場	前田佳秀	2	12	10	6	7月31日 12月11日
21	冷たいおやつを 作ろう	大栄分館	エプロン 会	1	17		6	8月8日 (日)
22	切り絵教室	大栄分館	長柄敏子	1	4	3	1	8月21日
23	レークサイドを 探検しよう	レークサ イド他	長谷川隆 秀 杉本和弘	1	11		4	8月29日 (日)
24	マンガ寺子屋塾	大栄分館 他	明治大学 生他	2	40	7	18	9月5日 11月7日
25	くり拾いに行こ う	亀谷	山下一郎	1	18	8	3	10月19日 (土)
26	子ども会とお年 寄りの交流	大島 東園	大栄まち 研	2	25	28	4	10月24日 (日)
27	炭焼き体験	上種炭焼 き窯	緑友の会	1	6	2	7	11月6日 (土)

No	事業名	場 所	指 導 者	回数	参 加 延人数	保護者 延人数	指導者 延人数	備考
28	ちびっ子古代体 験	お台場公園 キャンプ場	西村文伸 他	1	19	6	3	11月14日 (日)
29	書初め大会	大栄分館	大栄書道 愛好会	1	17		6	H23年 1月8日
30	ニュースポーツ に挑戦	大栄体育 館	船上山少 年自然の 家指導員	1	15		6	2月12日 (土)
31	ジュニアスポー ツ	海 洋 セ ン タ ー	北栄町体 育指導員	21	284	7	43	指定した 土曜日
32	船上山で雪遊び	船上山	船上山少 年自然の 家指導員 永田裕一	1	12		5	2月19日 (土)
33	ネイチャーゲー ム	お台場公 園キャン プ場	鳥取中部 かわせみ ネイチャ ーゲーム の会	1	9		4	2月26日 (土)
34	前川浄化作戦	大栄分館	大栄生涯 学習まち づくり研 究会	1	8		9	3月13日 (土)
35	ワリバン回収隊	大栄分館	婦人会	1				年4回 6・9・12・3月 第2日曜日
36	しいたけ菌植え と収穫	西高尾周 辺	西高尾自 治会	1	9	1	9	3月6日 (日)
37	茶道教室(北条会 場)	中央公民 館	福光直子	7	7		26	指定した土 曜日
総計	37事業			161	1,602	379	630	

【成果と課題】

・多くの地域の方々に協力を得て、様々な活動が実施できた。参加した子どもたちからは、「楽しかった、また参加したい」、「学校が違っていても、子どもほくえい塾に参加することによって交流ができ、仲間作りができてうれしかった」という感想があがっている。継続的に実施している事業の指導者（地域の方々）からは、「子ども達の上達が見られ、指導者としても喜びにつながっている」との感想があった。

- ・ 今後は、子どもが参加したくなる活動を増やし、内容の充実を図って参加を増やしたい。
- ・ 新分野の指導ボランティアの人材確保についての情報収集が必要である。
- ・ 放課後児童クラブとの連携については、情報交換をしながら、事業実施していきたい。

平成22年度 会議室等使用状況

平成22年4月18日現在

	第1会議室			視聴覚室			講堂			礼法室			娯楽室			第3会議室			第2会議室					調理室			月小計					
	日数	団体数	人数	日数	団体数	人数	日数	団体数	人数	日数	団体数	人数	日数	団体数	人数	日数	団体数	人数	日数	団体数	人数	日数	団体数	人数	日数	人数	迎え	日数	団体数	人数	日数	団体数
4月	24	41	360	22	32	252	22	27	487	21	28	261	10	13	110	19	20	50	13	13	179	10	279	250	4	3	33	145	187	2261		
5月	25	36	341	19	29	239	17	23	483	14	16	135	16	18	131	12	12	46	10	11	158	22	499	437	8	8	78	143	175	2547		
6月	25	38	341	16	25	198	22	29	646	20	27	212	13	17	124	16	16	42	15	15	182	26	671	598	7	7	124	160	200	3138		
7月	26	37	292	17	25	168	25	33	554	16	24	228	13	14	107	16	16	41	13	13	140	26	645	563	9	9	126	161	197	2864		
8月	23	34	280	18	23	175	26	30	702	16	24	252	16	20	183	8	8	26	4	4	31	11	208	165	12	14	181	134	168	2203		
9月	25	40	396	19	27	245	23	31	515	18	27	255	14	15	147	8	8	29	3	3	23	23	542	480	6	6	81	139	180	2713		
10月	25	40	308	19	28	223	23	28	428	16	19	160	17	19	135	13	14	34	8	9	78	25	558	494	9	10	97	155	191	2515		
11月	25	37	353	18	28	199	24	30	485	19	27	255	12	14	77	9	9	26	12	12	138	23	514	453	18	19	235	160	198	2735		
12月	22	38	318	20	29	217	16	20	511	19	30	317	13	17	106	11	11	32	8	8	62	23	474	406	11	13	193	143	187	2636		
1月	21	29	242	15	21	117	15	21	341	11	17	136	16	20	122	9	9	21	10	10	144	22	427	378	2	2	25	121	151	1953		
2月	22	29	350	19	37	292	20	26	569	21	27	204	12	13	73	10	10	33	11	11	114	23	419	376	3	3	32	141	179	2462		
3月	28	37	253	22	34	222	18	22	423	17	22	189	15	18	92	12	13	34	8	9	120	26	494	434	5	5	78	151	186	2339		
計	291	436	3834	224	338	2547	251	320	6144	208	288	2604	167	198	1407	143	146	414	115	118	1369	260	先生含む 5730	5034	94	99	1283	1753	2199	30366		

点検表より

平成22年度 大栄分館利用者 その他の内訳

	ロビー展	コピー 利用者数	体育館 鍵貸出し	事務所 来客	子ども学級 迎え	計
4月	215	123	59	151		548
5月	209	81	180	246		716
6月	300	68	190	240		798
7月	136	100	191	252		679
8月	186	82	183	225		676
9月	242	125	202	270		839
10月	178	116	207	232		733
11月	158	116	209	213		696
12月	236	139	184	187		746
1月	182	136	199	208		725
2月	251	132	204	275		862
3月	185	144	185	218		732
					5034	
計	2478	1362	2193	2717	別集計に計上済	8750

2011/4/18

平成23年度北栄町中央公民館大栄分館事業実績

1 主催事業・講座

平成24年3月4日現在

事業名	内 容	場 所	時 期(回数)	参加者
(1) 中高生サークル「夢雲」	サークルでのボランティア活動や自主活動を行い、中高生の地域リーダーを育成する。 別紙	大栄分館	毎週水曜日 定例会及び必要に応じて開催	町内中高生 対象
(2) 子どもほくえい塾	放課後や休日を活用した子どもたちの体験活動を、地域住民の協力で実施する。 別紙	大栄分館ほか 町内各施設	放課後 週末日 長期休業中	小・中学生
(3) 女性のための相談事業	生き方、家族や夫婦のこと、人間関係などの相談を受ける。	大栄分館	毎月第1・第3 月曜日	女性と町民
(4) 健康長寿講演会 ～音楽で健康づくり～	音楽がもたらす健康づくりについて学ぶ 講師 日本音楽熟成協会 会長 杉原 宏一郎さん ピアニスト 山城 裕子さん	大栄分館	7月15日(金)	60人
(5) 地域づくり講演会 交流によるまちづくりをすすめよう ～グリーンツーリズムの事例から学ぶ～ ※北栄町議会と共同開催	①全町公園化に関する政策提言 阪本和俊議員説明 ②地域を創る感動ツーリズム 講師 CRC地域再生診療所長 ③飯田市の都市と農村交流の取り組みについて 講師 農家民宿ふれあい農園おた代表	大栄分館	12月3日(土)	52人
(6) まちづくりを楽しもう 現地に行って学ぼう	①のれんのまち勝山と新庄村がいせん桜の下を歩いてみよう ②フルーツ王国せら高原夢まつりに参加して実りの秋を満喫しよう ③オンドリのまち日野町のまちづくりと災害ボランティアについて学ぼう ④島根原子力館にいて原子力発電について学ぼう	岡山県真庭市 新庄村 広島県世羅町 日野町 島根県松江市	4月19日(火) 9月25日(日) 10月28日(金) 12月4日(日)	22人 25人 20人 19人
(7) 暮らしの講座 ①浴衣着付教室 ②EM菌講座	夏祭りに浴衣で参加してもらうため、着付け講習会を行う 講師 浦田靖子さん 環境を浄化するといわれているEM菌について学習する。 講師 EM自然循環システムズ渡部敏樹さん	大栄分館 大栄分館	7月28日(木) 11月10日(木)	11人 14人
(8) 料理教室 ①男性料理教室 ②薬膳料理教室	楽しく作って楽しく食べる料理講習会 講師 吉岡 豊さん(湯梨浜町 吉華 料理長) ・梅雨を乗り切る薬膳料理 ・夏の疲れを癒し体に潤いを与える	大栄分館 大栄分館	4月～3月 月1回開催 6月8日(水) 10月7日(金)	218人 25人 23人

事業名	内 容	場 所	時期(回数)	参加者
③地産地消料理教室	講師 松原有美さん(薬膳調理指導員) 藤井睦子さん(栄養士) 料理の基本を学ぶ 講師 食育アドバイザー 川瀬滋子さん	大栄分館	10月25日(火) 2月14日(火)	28人
(9)手づくり広場 ①エコバッグづくり	傘布を再利用してエコバッグを作る	大栄分館	7月7日	9人
②寄せ植え教室	春の寄せ植え 秋の寄せ植え	大栄分館	5月30・31日 11月28・29日	32人 31人
③藍染め作品作り	伝統技法で藍染めを行う 講師 山本奈美枝さん	大栄分館	8月28～31日	26人
④えとカレンダーづくり	龍の貼り絵カレンダー	大栄分館	11月～12月	20人
⑤ハワイアンキルトづくり	講師 山根哲子さん	大栄分館	2月9日～23日	33人
(10)公民館活性化モデル事業 ①地域で子どもを育てよう ～子どものたまり場づくりについて～	講演・ワークショップ・交流会 講師 滋賀県高島市 保井五雄さん 長濱 洋さん	大栄分館	9月17日(土)	61人
②子ども公民館まつり	お茶席・体験コーナー・ジャンボ貼り絵 リユースバザー・遊びの広場 ジャンボ巻き寿司づくり	大栄分館	24年1月29日(日)	400人
③地域で子どもを育てようパート2 ～子どもほめ条例のまちのまちづくり～	講演・ワークショップ・交流会 講師 聖徳大学名誉教授 福留 強さん	大栄分館	24年3月4日(日)	40人

2 町民および他の機関との共催事業

事業名	内 容	場 所	時期(回数)	参加者
(1)わらべ館おもちゃ教室	わらべ館と共催 万華鏡作り 講師 山本千恵子さん	大栄分館	6月19日(日)	22人
(2)山信暁子かすり展	伝統の絵絊展	大栄分館ロビー	6月16日～30日	
(3)おじいちゃんとおばあちゃん の似顔絵展	町内7保育所と連携し実施 作品117人	大栄分館ロビー	9月1日～14日	
(4)大栄小学校児童夏休み 自由研究作品展	大栄小学校と連携し実施	大栄分館ロビー	10月1日～15日	
(5)浦田敬子手しごと展	パッチワーク、はたおり、陶芸、絵手紙ほか	大栄分館ロビー	12月16日～28日	

平成23年度放課後子ども教室推進事業子どもほくえい塾

1 目的

平成16年度から21年度まで継続実施してきた地域こども教室推進事業「地域教育再生プラン」により、こどもたちのより安全な居場所づくり、体験活動に取り組める居場所を中央公民館・中央公民館大栄分館に求め、ふるさと北栄町を舞台に、放課後や週末、長期休業中などの様々な体験活動を、町民有志ボランティアの指導協力によって行ってきた。平成22年度以降もこれを中央公民館大栄分館において継続し、地域子ども達を地域の大人が見守り、育て、ふるさと北栄町に愛着を持つ健全な青少年を育成するとともに、地域の大人たちのこれまでの生涯学習の成果を子どもたちに伝承する。

2 実施事業

平成23年4月1日～24年2月25日

No	事業名	場 所	指 導 者	回数	参 加 延人数	保護者 延人数	指導者 延人数	備考
1	囲碁教室	大栄分館	囲碁クラブ員	41	236	4	108	毎週土曜日
2	ふるさと花植え隊	コナンロード 前川土手 駅前通り	大栄生涯学習ま ちづくり研究会	14	53	210	102	4～10月 指定した土曜日
3	しおりを作ろう	大栄分館	松本和樹	1	11		2	4月24日(日)
4	松ぼっくりでつく ろう	大栄分館	石川喜美 枝	1	10	1	2	5月8日(日)
5	田植えを手でやっ てみる会	西高尾周辺	西高尾自治会	1	16	15	14	5月22日(日)
6	稲刈りを手でやっ てみる会	同上	同上	1	19	16	13	10月2日(日)
7	脱穀を手でやって みる会	同上	同上	1	13	9	13	10月29日(土)
8	ちぎり絵教室	なかよし学 級・大栄分館	榊田栄子他	4	31	5	18	指定した土曜日
9	赤十字運動街頭キ ャンペーン	A コープ大栄 店他	大栄赤十字奉仕 団	7	14		26	5月 12月予定
10	ホテル観察会	妻波・大谷 周辺	吉野昭則他	1	12	11	2	6月11日(土)
11	オリジナルえんぴ つを作ろう	大栄分館	徳岡智恵	1	14	1	1	6月12日 (日)
12	わらべ館おもちゃ 教室	大栄分館	山本千恵子他	1	16	2	4	6月19日(日)
13	船上山で遊ぼう	船上山少年自 然の家	徳本指導員他	1	10		4	8月16日(火)

No	事業名	場 所	指 導 者	回数	参 加 延人数	保護者 延人数	指導者 延人数	備考
14	陶芸教室	中央公民館民 芸実習室	陶芸教室会員	2	28	5	15	5月8日 6月26日
15	太陽光発電実験と 工作	中央公民館 大栄分館	福田忠明	2	32	9	10	7月30日 7月31日
16	料理教室 (大栄地区)	大栄分館	大栄地区食生活 改善推進員	6	99	8	47	指定した土曜日
17	料理教室 (北条地区)	中央公民館	北条地区食生活 改善推進員	6	76	7	33	同上
18	茶道教室 (大栄会場)	大栄分館	吉田聡美	10	81	4	20	同上
19	中高生とあそぼう デー	大栄分館 大栄体育館 他	中高生サークル 夢雲	11	395	295	48	指定した土曜日 他
20	星を見る会	大栄小学校駐 車場	前田佳秀	2	18	9	6	8月5日
21	冷たいおやつを作 ろう	大栄分館	河本順子	1	23		4	8月5日(金)
22	切り絵教室	大栄分館	長柄敏子	1	7	1	2	8月21日
23	レークサイドを探 検しよう	レークサイド 他	東伯地区農業用 水 管理所・篠原	2	86		18	8月3日(水) 8月10日(水)
24	くり拾いに行こう	亀谷	山下一郎	1	8		2	10月8日(土)
25	子ども会とお年寄 りの交流	北条島	大栄まち研	1	7	8	5	7月10日(日)
26	前川浄化作戦	大栄分館 前川土手	大栄生涯 学習まちづくり 研究会	6	56		25	指定した土・日 曜日
27	ワリバシ回収隊	大栄分館	婦人会	2	2	1	27	指定した土曜日
28	茶道教室(北条)	中央公民館	谷口陽子 他	8	16		24	毎月第1土曜日
29	ジュニアスポーツ	海洋センター	体育指導員	12	129	19	25	指定した土曜日
30	シフォンケーキ作 り	大栄分館	竹信啓子	1	25	1	3	12月11日(日)
31	小石を变身させよ う	大栄分館	西村文伸	1	9	1	2	11月6日(日)

No	事業名	場所	指導者	回数	参加延 人数	保護者 延人数	指導者 延人数	備考
32	書初大会	大栄分館	大栄書道 愛好会	1	15		6	1月15日(日)
33	巻き寿司を作ろう	大栄分館	河本順子	1	19	2	6	11月19日(土)
34	フラワーアレンジ メント	大栄分館	根鈴歌奈子	1	14		3	1月22日(日)
35	子ども公民館まつり	大栄分館	NPO まちづくり ネット	1	200	230	41	1月29日(日)
36	船上山で雪遊び	船上山	船上山少年自然の 家 指導員・永田裕一	1	18		6	2月12日(日)
37	ネイチャーゲーム	お台場公園キ ャンプ場	鳥取中部かわせみ ネイチャーゲーム の会	1	7	1	5	2月25日(日)
計	37事業			156	1,825	875	692	

21世紀をつくる青少年育成事業中高生サークル「夢雲（ムーン）」

1 目的







中高生サークル「夢雲（ムーン）」としてサークル活動に取り組み、週1回の定例会や、休日・長期休業中におけるボランティア活動への参加、子ども達を対象とした体験活動の指導を通して、地域に根ざした中学・高校生世代の地域活動リーダーの育成を図る。

2 会員 10名

3 実施事業

平成23年4月1日～平成24年3月1日

活 動	内 容	実施時期
中高生と遊ぼうデー	小学生との異世代間交流を図るとともに、リーダーとしての資質向上を目指す。 1 レクリエーションとサンドイッチづくり 9人参加 2 レクリエーション 4人参加 3 「夢雲サンタがやってくる」プレゼントを持って子ども会や各家を訪問（8日間・13コース）382人へプレゼント	6月26日（日） 10月29日（土） 12月17日（土） ～25日（日）
山陰まちなかオー ルウエイズ参画	地域と子どものための体験イベント約20店舗のうち、わなげとスカットボール担当であったが、前日の強風で屋内に変更になり中止し、夏味ちゃんの着ぐるみで約800名の来場者をお迎えする。	5月1日（日）
海岸清掃	北栄町内海岸線の清掃作業を行う。	6月19日（日）
国立吉備ボランテ ィア養成研修	ボランティアの資質向上と青少年教育におけるボランティア活動を推進するため、講義、実習を受講する。	5月7日（土）～ 8日（日）
中部地区少年少女 のつどい	仲間づくりのグループ活動・魚つかみ・一向平さわやかハイキング・バーベキューなどを行う。	6月5日（日）
すいか・ながいも健 康マラソン運営ボラ ンティア	すいか切りの後方部隊ですいか渡しをする。	7月3日（日）
北栄砂丘まつり運 営ボランティア	ぶどうの種飛ばしゲームやクイズラリー等の運営に協力する。	8月21日（日）
子どもほくえい塾 協力ボランティア	地域子ども教室推進事業「子どもほくえい塾」において、事業が円滑に進むよう指導者のサポートを行う。	随時

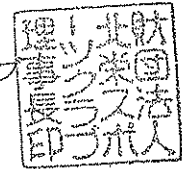
町長	副町長	教育長	総務課長	主務課長	管課補佐	係長	回	議	主査
									

資料No. 2

平成24年3月7日

北栄町長 松本 昭夫 様

(財)北栄スポーツクラブ
理事長 林 邦臣



財団法人北栄スポーツクラブ指定管理業務評価表の提出について

標記の件につきまして、平成21年度、22年度、23年度(中間)の指定管理業務評価表の提出をいたします。



財団法人北栄スポーツクラブ 指定管理 業務評価表(平成21年4月1日～平成24年1月31日)

業務名	実施概要	成果と課題(自己評価)	評価の観点	自己評価	講評	総合評価
《管理・運営に関すること》						
◎施設管理に関すること	指定管理施設の管理業務	・施設の不備に迅速に対応し、すべての利用者が安全にスポーツ活動が出来た。	目標を大幅に達成できた 目標をいくらか超えて達成 目標どおり達成できた 目標を一部達成できなかった 目標が達成できなかった	A B ○ C D E		A B C D E
◎窓口業務に関すること	利用者窓口受け付け業務 毎年度1,500件程度	・申込者のバッティング防止に努めた。又、申込団体が多種多様のため識別判断にとまどうことがあった。	目標を大幅に達成できた 目標をいくらか超えて達成 目標どおり達成できた 目標を一部達成できなかった 目標が達成できなかった	A B ○ C D E		A B C D E
◎防火管理に関すること	別添防火管理関係文書のとおり	・定期点検業務を行い防火に努めた。	目標を大幅に達成できた 目標をいくらか超えて達成 目標どおり達成できた 目標を一部達成できなかった 目標が達成できなかった	A B C ○ D E		A B C D E
◎大会・教室等の年間計画	別添年間行事予定表のとおり	・毎年度ごとに各種団体長の意見を聞きニーズにあった大会を計画することが出来た。	目標を大幅に達成できた 目標をいくらか超えて達成 目標どおり達成できた 目標を一部達成できなかった 目標が達成できなかった	A B ○ C D E		A B C D E
◎元旦マラソン&ウォーキング大会	今年1年の健康づくりのスタートを切る	・『1年の計は元旦にあり』年始めのイベントとして毎年大勢の参加があります。	目標を大幅に達成できた 目標をいくらか超えて達成 目標どおり達成できた 目標を一部達成できなかった 目標が達成できなかった	A B ○ C D E		A B C D E
◎町民運動会	町民が一堂に会し、町民相互の親睦と、健康・体力の維持増進を図る。	・33自治会の参加があり、種目内容を検討し全自治会の参加を目指す。	目標を大幅に達成できた 目標をいくらか超えて達成 目標どおり達成できた 目標を一部達成できなかった 目標が達成できなかった	A B ○ C D E		A B C D E
◎北栄町駅伝競走大会	大栄、北条庁舎間を9区間にわたりタスキリレーをする	・各自治会にアンケートをとり適切なコース設定ができ、小学生から一般まで世代を超えたチーム作りがされ異世代交流ができた。	目標を大幅に達成できた 目標をいくらか超えて達成 目標どおり達成できた 目標を一部達成できなかった 目標が達成できなかった	A B ○ C D E		A B C D E
◎町民大会	自治会の団結力を高め親睦を図る (参加人数別添資料)	・卓球、バドミントンなど8種目を計画し自治会対抗戦を行った。近年中に年間総合得点を計画したい。	目標を大幅に達成できた 目標をいくらか超えて達成 目標どおり達成できた 目標を一部達成できなかった 目標が達成できなかった	A B C ○ D E		A B C D E
◎中部駅伝競走大会	陸上部が中心となり北栄町の代表が参加	・スポーツクラブ陸上部がチーム丸となり平成23年度初優勝を飾った。今後、若手の新人発掘が必要。	目標を大幅に達成できた 目標をいくらか超えて達成 目標どおり達成できた 目標を一部達成できなかった 目標が達成できなかった	A ○ B C D E		A B C D E
◎東伯郡民体育大会	東伯郡スポーツの祭典、平成23年度女子総合優勝を飾る	・毎年1,000人程度の選手を派遣している。町民の力を結集しアベック優勝を目指す。各種団体とも選手集めが課題。種目の見直しが必要と思われる。	目標を大幅に達成できた 目標をいくらか超えて達成 目標どおり達成できた 目標を一部達成できなかった 目標が達成できなかった	A B ○ C D E		A B C D E
自己評価総括						
北栄町社会体育施設・社会体育事業の管理委託に係る目的に対する貢献度について	財団法人北栄スポーツクラブの能力を発揮し北栄町並びにスポーツ推進委員と一体になり『北栄町まちづくりビジョン』におけるスポーツ振興がなされたか。	・北栄町民のスポーツ振興をスポーツ推進委員協議会と連携をとり各種事業を行った。	目標を大幅に達成できた 目標をいくらか超えて達成 目標どおり達成できた 目標を一部達成できなかった 目標が達成できなかった	A B ○ C D E	総合評価	総合評価
<p style="text-align: center;">●●●●●総括●●●●●</p> <p>①自治会対抗の各種大会(駅伝、卓球、バドミントン、バスケットボール)は以前地区大会で行われていたが、全町上げて行われるようになり地域交流につながった。今後、バレーボール、ソフトボールも全町上げての大会にしたい。</p> <p>②クラブ会員数については、平成21年度894人、平成22年度917人、平成23年度923人と少しずつだが増える傾向にある。又、ソフトバレーボールやバドミントンの新しいグループがクラブ加入している。</p> <p>③指定管理施設の利用人数が毎年20万人を越え健康づくりに有効利用が出来た。</p>						

《添付資料》
 ・平成21～23年事業報告書(平成24年1月31日現在まで)
 ・平成21～23年度年間行事予定表
 ・各種大会結果表
 ・指定管理施設の利用状況

平成21年度 (財)北栄スポーツクラブ事業報告

〔事業実績〕

- 町民の健康と体力増進のため各種スポーツ行事を北栄スポーツクラブ員の協力を得て実施し、普及啓発に努めた。
- 理事会・評議員会を開催し事業運営に努め、北栄町からの受託施設(14施設)の円滑な管理運営に努めた。
- 社会体育施設の利用状況は、海洋センターではプール事業として親子水泳教室、カヌー教室などを実施し、アリーナ事業としてシニアスポーツ教室やジュニアスポーツ教室等を行った。
- 各施設においても年間を通じて各部・クラブの活動が盛んに行われた。(ジュニア19、一般64団体)
- クロスカントリー大会は、32回大会を開催し、442名の参加申込者があった。又、元旦マラソン&ウォーキング大会は、大雪の降る悪天候の中、121人もの参加があった。

〔その他関連事業〕

- 北栄スポーツクラブ設立の初年度となり、クラブ育成に努め545名の入会者があった。
- ジュニア部の活動として少子化の中349人の入会者があり、19団体が年間を通じ活動をした。
- 一般の部については、野球部、バウンドテニス部また、ジュニアの部においては、ドッジボール、バレーボールが全国大会に出場。中学生卓球団体、小学生バドミントン(男子シングルス・女子シングルス)が中国大会出場を果たした。
- 郡体において男子は3年連続総合優勝し、女子は2位と健闘した。

平成22年度 (財)北栄スポーツクラブ事業報告

〔事業実績〕

- 町民の健康と体力増進のため各種スポーツ行事を体育指導委員や北栄スポーツクラブの各部の協力を得て実施し、普及啓発に努めた。
- 理事会・評議員会を開催し事業運営に努め、北栄町からの受託施設(14施設)の円滑な管理運営に努めた。
- 社会体育施設の利用状況は、海洋センターではプール事業として親子水泳教室、カヌー教室などを実施し、アリーナ事業としてシニアスポーツ教室やジュニアスポーツ教室等を行い、各施設においても年間を通じて各部・クラブの活動が盛んに行われた。(ジュニア18、一般55団体)
- クロスカントリー大会は、33回目でファイナル大会を開催し、480名の参加申込者があった。又、元旦マラソン&ウォーキング大会は、大雪警報が発令され中止となった。

〔その他関連事業〕

- 北栄スポーツクラブのクラブ育成に努め560名の入会者があった。
- ジュニア部の活動として少子化の中357人の入会者があり、18団体が年間を通じ活動をした。
- 一般の部については、野球部、バウンドテニス部また、ジュニアの部においては、ドッジボール、バドミントン(県選抜メンバー)が全国大会に出場。小学生バドミントン(女子シングルス・女子ダブルス)が中国大会出場を果たした。
- 郡体において男子、女子共2位と健闘した。
- 民法の改定により当法人は、『一般財団法人』への認可申請を行う。

平成23年度 (財)北栄スポーツクラブ事業報告 【中間報告】

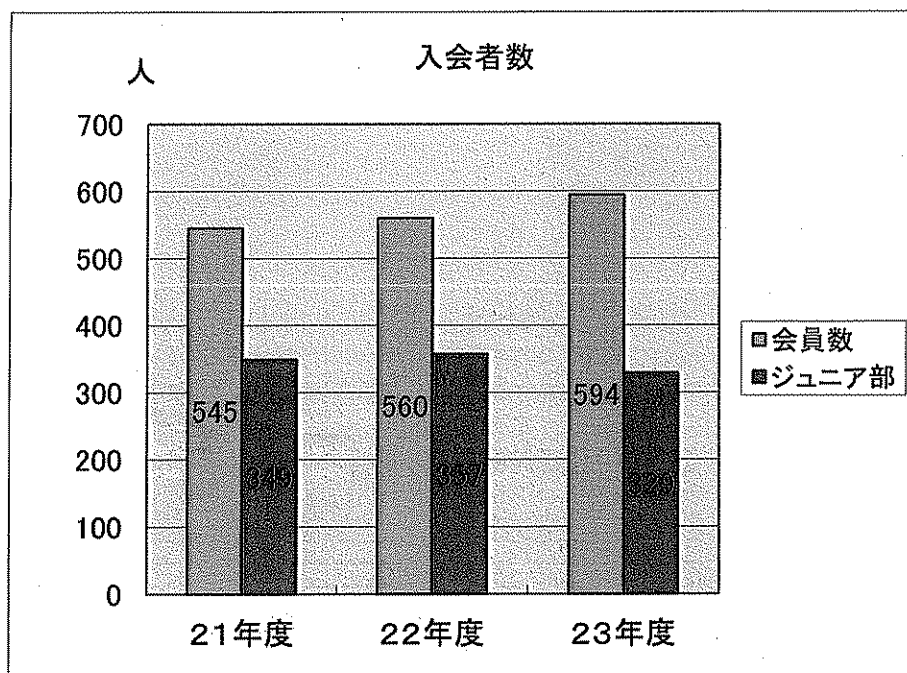
〔事業実績〕

- 町民の健康と体力増進のため各種スポーツ行事を体育指導委員や北栄スポーツクラブの各部の協力を得て実施し、普及啓発に努めた。
- 理事会・評議員会を開催し事業運営に努め、北栄町からの受託施設(13施設)の円滑な管理運営に努めた。
- 社会体育施設の利用状況は、海洋センターではプール事業として親子水泳教室、カヌー教室などを実施し、アリーナ事業としてシニアスポーツ教室やジュニアスポーツ教室等を行い、各施設においても年間を通じて各部・クラブの活動が盛んに行われた。(ジュニア18、一般51団体)
- 元旦マラソン&ウォーキング大会は、年末に降った雪が歩道などに残って走りづらかったが330人の参加があった。
- 北栄町初の町民運動会を開催し1,200人(33自治会)の参加で行われた。

〔その他関連事業〕

- 北栄スポーツクラブのクラブ育成に努め594名の入会者があった。
- ジュニア部の活動として少子化の中329名の入会者があり、18団体が年間を通じ活動をした。
- 一般の部については、野球部、バウンドテニス部また、ジュニアの部においては、ドッジボール、卓球(個人)が全国大会に出場。
小学生バドミントン育成会が中国大会出場を果たした。
- 郡体において、女子が総合優勝、男子は2位と健闘した。
- 民法の改定により当法人は、『一般財団法人』への認可申請を平成24年度に行う。

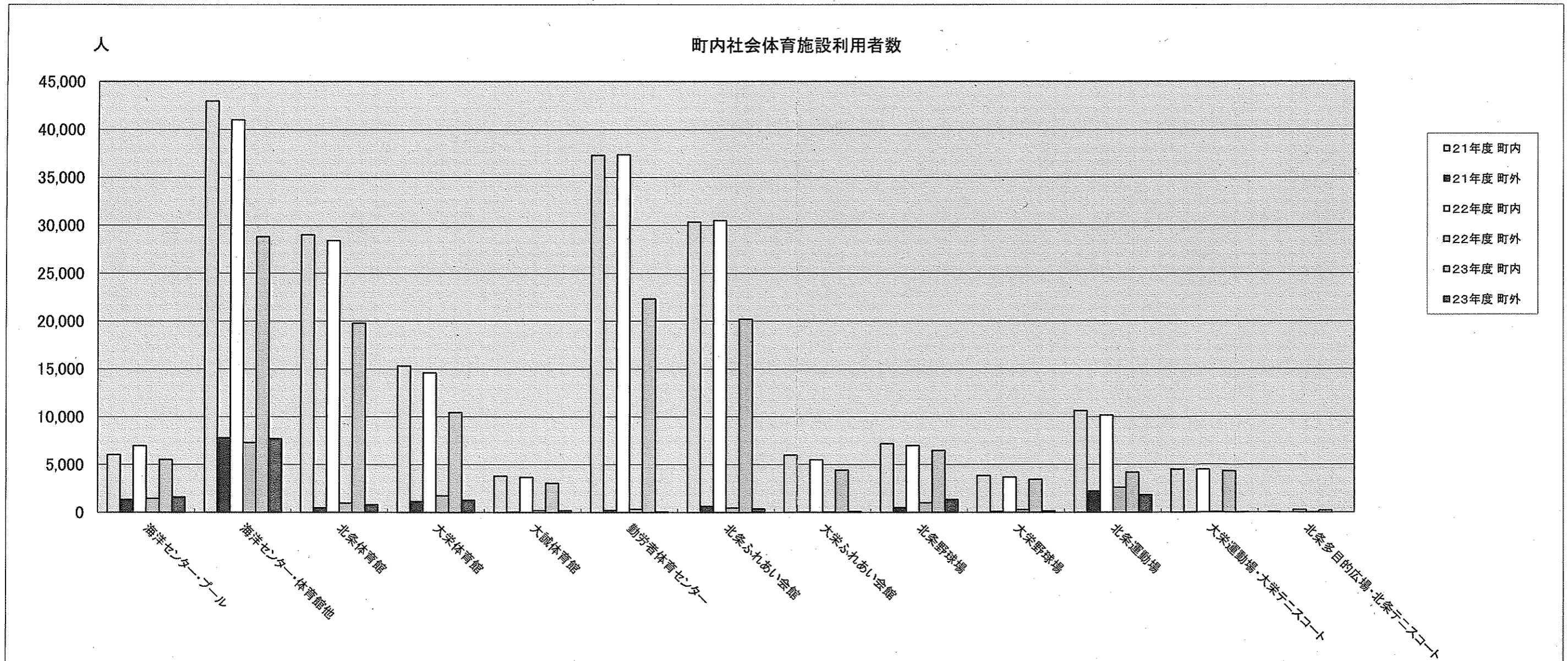
	21年度	22年度	23年度
会員数	545	560	594
ジュニア部	349	357	329



	21年度		22年度		23年度	
	町内	町外	町内	町外	町内	町外
海洋センター・プール	6,044	1,341	6,960	1,451	5,518	1,595
海洋センター・体育館他	42,964	7,792	40,988	7,296	28,817	7,698
北条体育館	29,014	482	28,402	955	19,782	786
大栄体育館	15,300	1,121	14,580	1,719	10,433	1,266
大誠体育館	3,784	25	3,666	175	3,044	179
勤労者体育センター	37,312	199	37,366	324	22,318	58
北条ふれあい会館	30,339	628	30,479	453	20,189	369
大栄ふれあい会館	5,978	5	5,488	22	4,422	85
北条野球場	7,173	489	6,979	996	6,458	1,345
大栄野球場	3,845	90	3,672	270	3,438	129
北条運動場	10,623	2,198	10,141	2,619	4,183	1,818
大栄運動場・大栄テニスコート	4,495	15	4,470	32	4,311	12
北条多目的広場・北条テニスコート	39	0	248	18	198	0

※ H. 24. 1. 31現在

※ 北条テニスコートは22年度に廃止



指定管理候補者の選定について

北栄町中央公民館大栄分館の管理につき、指定管理者の指定をするため、次のとおり指定管理候補者を選定し、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第6項及び北栄町公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例（平成17年北栄町条例第59号）第5条の規定により、北栄町議会平成24年第1回定例会（3月）に議案として提出してよろしいか。

1 議案提出理由

現在の当該指定管理の基本協定期間が平成24年3月31日に終了（協定期間 平成21年4月1日から 3年間）するので、引き続いて現在の指定管理者に管理を行わせていたため。

2 指定管理候補者に選定する団体

- (1) 名称 特定非営利活動法人まちづくりネット
- (2) 代表者 理事長 永田洋子
- (3) 所在地 鳥取県東伯郡北栄町由良宿800番地
- (4) 設立 平成21年3月2日

3 指定管理候補者の選定理由

北栄町公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例（平成17年北栄町条例第59号）第6条第1項第1号による。

第6条 町長は、次の各号のいずれかに該当するときは、前2条の規定によらず指定管理候補者を選定することができる。

- (1) 公の施設の設置目的、特性、規模等を考慮し、特に必要があると認められるとき。

特定非営利活動法人まちづくりネットが定款に掲げる「広く住民に対して生涯を通じて文化的な生活が送れるようまた誇りをもって地域で生きていくことができるように支援する事業を行い、持って地域社会の健全な発展に貢献すると主に公益の増進に寄与する。」という法人の目的と、これに基づいて行う社会教育・まちづくりの推進、男女共同参加社会の形成促進、子どもの健全育成等の各種事業が町の施策と合致しており、同法人を指定管理者とすることにより、協働によるまちづくりと地域住民に対するサービスの効果がよりいっそう向上し、本町の社会教育事業推進を担う存在になることが期待できる。

また、同法人は平成21年4月から現在まで当該施設指定管理の管理者としての実績がある。

4 指定管理者に管理を行わせる施設

北栄町中央公民館大栄分館 北栄町由良宿800番地

5 指定管理期間

平成24年4月1日から平成27年3月31日まで

指定管理候補者の選定について

北栄町社会体育施設及び北栄町B&G海洋センターの管理につき、指定管理者の指定をするため、次のとおり指定管理候補者を選定し、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第6項及び北栄町公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例（平成17年北栄町条例第59号）第5条の規定により、北栄町議会平成24年第1回定例会（3月）に議案として提出してよろしいか。

1 議案提出理由

現在の当該指定管理の基本協定期間が平成24年3月31日に終了（協定期間 平成21年4月1日から 3年間）するので、引き続いて現在の指定管理者に管理を行わせたいため。

2 指定管理候補者に選定する団体

- (1) 名称 財団法人北栄スポーツクラブ
- (2) 代表者 理事長 林邦臣
- (3) 所在地 鳥取県東伯郡北栄町田井428番地1
- (4) 概要

平成5年4月1日

財団法人北条町スポーツ振興事業団として設立

平成15年4月1日

財団法人北条スポーツクラブに名称変更

平成16年4月1日から平成21年3月31日まで

北条地区の社会体育施設及びB&G海洋センターの指定管理者

平成21年4月1日から平成24年3月31日まで

北栄町社会体育施設及び北栄町B&G海洋センターの指定管理者

平成21年4月1日

財団法人北栄スポーツクラブに名称変更

(大栄スポーツクラブと統合)

3 指定管理候補者の選定理由

北栄町公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例（平成17年北栄町条例第59号）第6条第1項第1号による。

第6条 町長は、次の各号のいずれかに該当するときは、前2条の規定によらず指定管理候補者を選定することができる。

- (1) 公の施設の設置目的、特性、規模等を考慮し、特に必要があると認められるとき。

財団法人北栄スポーツクラブが基本方針に掲げる「協働によるまちづくり」に基づいて行う町民の健康づくり、体力づくりの推進が、町の施策と合致しており、同クラブを

指定管理者とすることにより、地域住民に対するサービスの効果がよりいっそう向上し、クラブが町の社会体育事業推進を担う中心的な存在になることが期待できる。

また、同クラブは平成21年4月から現在までの本指定管理の管理者としての実績がある。

4 指定管理者に管理を行わせる施設

- | | |
|-------------------|--------------|
| (1) 北栄町北条体育館 | 北栄町土下112番地 |
| (2) 北栄町北条ふれあい会館 | 北栄町土下100番地3 |
| (3) 北栄町北条野球場 | 北栄町国坂385番地5 |
| (4) 北栄町北条運動場 | 北栄町土下105番地 |
| (5) 北栄町北条多目的広場 | 北栄町国坂582番地 |
| (6) 北栄町大栄体育館 | 北栄町由良宿797番地 |
| (7) 北栄町大誠体育館 | 北栄町瀬戸37番地1 |
| (8) 北栄町勤労者体育センター | 北栄町由良宿223番地2 |
| (9) 北栄町大栄ふれあい会館 | 北栄町下種868番地 |
| (10) 北栄町大栄野球場 | 北栄町由良宿370番地 |
| (11) 北栄町大栄運動場 | 北栄町由良宿215番地 |
| (12) 北栄町大栄テニスコート | 北栄町由良宿222番地 |
| (13) 北栄町B&G海洋センター | 北栄町田井428番地1 |
- 以上13施設

5 指定管理期間

平成24年4月1日から平成27年3月31日まで

○北栄町公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例

平成17年10月1日

条例第59号

(趣旨)

第1条 この条例は、地方自治法(昭和22年法律第67号。以下「法」という。)第244条の2第3項の規定に基づき、本町の公の施設の管理を行わせる指定管理者の指定の手続に関し必要な事項を定めるものとする。

(指定管理者に管理を行わせる施設)

第2条 指定管理者に管理を行わせることができる公の施設については、それぞれの公の施設の管理に関する条例の定めるところによる。

(指定管理者となることができない法人等)

第3条 北栄町議会の議員、町長、法第180条の5第1項に規定する委員会の委員(監査委員を含む。)、これらの者の配偶者、子及び父母並びにこれらの者と生計を同じくしている者が役員等に就任している法人その他の団体は、指定管理者になることができない。

(指定管理者の指定の申請)

第4条 法人その他の団体であつて、指定管理者の指定を受けようとするものは、申請書に次に掲げる書面を添えて、当該施設について町長に申請しなければならない。

(1) 指定管理者の指定を受けようとする公の施設の管理の業務に関する事業計画書(次条において「事業計画書」という。)

(2) 法人等の業務の内容を明らかにすることができる書類

(3) 法人等の財務の状況を明らかにすることができる書類

(4) 前号に掲げるもののほか、町長が特に必要なものとして規則で定める書面

(指定管理者の指定)

第5条 町長は、前条の規定による申請があつたときは、次の各号のいずれにも該当するもののうちから指定管理者の候補者を選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定しなければならない。

(1) その事業計画による公の施設の運営が住民の平等利用を確保することができるものであること。

(2) その事業計画書の内容が当該事業計画書に係る公の施設の効用を最大限に発揮させるとともに、その管理に係る経費の縮減が図られるものであること。

(3) その事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力及び人的能力を有するもので

あること。

(指定管理候補者の選定の特例)

第6条 町長は、次の各号のいずれかに該当するときは、前2条の規定によらず指定管理候補者を選定することができる。

- (1) 公の施設の設置目的、特性、規模等を考慮し、特に必要があると認められるとき。
- (2) 第4条の規定による申請がなかったとき、又は前条の審査の結果、指定管理候補者を選定することができなかつたとき。
- (3) 指定管理候補者を指定管理者として指定することができなくなり、又は著しく不適當と認められる事情が生じたとき。
- (4) 指定管理者が法第244条の2第11項の規定により、その指定を取り消されたとき。

2 前項の規定による指定管理候補者の選定に当たっては、町長は、選定を行おうとする法人等と協議し、第4条各号に規定する書類の提出を求め、前条各号に掲げる基準によって審査し、当該法人等を指定管理候補者に選定するものとする。

(協定の締結)

第7条 町長は、指定管理者と当該公の施設(以下「管理施設」という。)の管理に関する協定を締結するものとする。

2 前項の規定による協定で定める事項は、次のとおりとする。

- (1) 管理施設の管理に関する事項
- (2) 法第244条の2第7項の事業報告書に関する事項
- (3) 町が支払うべき管理の業務に係る費用に関する事項
- (4) 指定の取消し及び管理の業務の停止に関する事項
- (5) 管理の業務を行うに当たって保有する個人情報の保護に関する事項
- (6) その他町長が別に定める事項

(事業報告書の作成及び提出)

第8条 指定管理者は、毎年度終了後その管理する公の施設に関する事業報告書を作成し5月31日までに、町長に提出しなければならない。ただし、年度の中途において第10条第1項の規定により指定を取り消されたときは、その取り消された日から起算して30日以内に当該年度の当該日までの間の事業報告書を提出しなければならない。

2 指定管理者が提出する事業報告書には、次に掲げる事項を記載するものとする。

- (1) 管理業務の実施状況及び利用状況
- (2) 使用料又は利用に係る料金の収入の実績

(3) 管理に係る経費の収支状況

(4) その他町長が管理の実態を把握するために必要なものとして別に定める事項
(業務報告の聴取等)

第9条 町長は、公の施設の管理の適正を期するため、指定管理者に対し、その管理の業務及び経理の状況に関し定期的に又は必要に応じて臨時に報告を求め、実地に調査し、又は必要な指示をすることができる。

(指定の取消し等)

第10条 町長は、指定管理者が前条の指示に従わないとき、その他指定管理者の責めに帰すべき事由により当該指定管理者による管理を継続することができないと認めるときは、法第244条の2第11項の規定によりその指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部又は一部の停止を命ずることができる。

2 前項の規定により指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合において指定管理者に損害が生じても、町長はその賠償の責めを負わない。

(原状回復義務等)

第11条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき又は法第244条の2第11項の規定により指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じられたときは、その管理を行わなくなった管理施設及びその設備を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、町長の承認を得たときは、この限りでない。

2 指定管理者は、故意又は過失により管理施設の施設若しくは設備を損傷し、又は滅失したときは、速やかにこれを原状に回復し、又はその損傷若しくは滅失によって生じた損害を賠償しなければならない。ただし、町長が特別の事情があると認めるときは、その全部又は一部を免除することができる。

(秘密保持義務)

第12条 指定管理者又はその管理する公の施設の業務に従事している者(以下この条において「従事者」という。)は、北栄町個人情報保護条例(平成17年北栄町条例第14号)第5条に規定する責務を遵守し個人情報適切に保護されるよう配慮するとともに、当該公の施設の管理に関し知り得た秘密を他に漏らし、又は自己の利益のために利用してはならない。指定管理者の指定の期間が満了し、若しくは指定を取り消され、又は従事者の職務を退いた後においても、同様とする。

(情報の開示)

第13条 指定管理者は、北栄町情報公開条例(平成17年北栄町条例第13号)の趣旨にのっとり、管理施設の管理に関して保有する情報の開示に必要な措置を講ずるようつとめなければならない。

(委任)

第14条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成17年10月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日の前日までに、合併前の北条町公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例(平成16年北条町条例第1号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

○北栄町公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例施行規則

平成17年10月1日

規則第50号

(趣旨)

第1条 この規則は、北栄町公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例(平成17年北栄町条例第59号。以下「条例」という。)の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(指定管理者の指定等の公表)

第2条 町長は、条例第5条の規定により指定管理者を指定したときは、当該指定を受けた者の名称、主たる事務所の所在地及び代表者の指名を町の広報誌への登載その他の方法(以下「資料提供等」という。)により公表するものとする。

2 町長は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消したときは、当該指定を取り消された者の名称、主たる事務所の所在地及び代表者の氏名を資料提供等により公表するものとする。

(変更の届出)

第3条 指定管理者は、その名称、主たる事務所の所在地又は代表者を変更したときは、遅滞なく、その旨を知事等に届け出なければならない。

2 町長は、前項の届出があったときは、その内容を資料提供等により公表するものとする。

(監事の設置)

第4条 指定管理者(地方公共団体を除く。)は、当該指定管理者の業務の執行及び財産の状況の監査を業務とする理事以外の役員の職にある2人以上の者(役員に準ずる職にある者を含む。)に、次に掲げる職務を行わせるものとする。

- (1) 指定管理者が行う公の施設の管理に係る当該指定管理者の財産及び業務の執行に係る状況を監査すること。
- (2) 指定管理者が行う公の施設の管理に係る当該指定管理者の財産の状況又は業務の執行について、法令、定款若しくは寄附行為(これらに相当するものを含む。)に違反し、又は著しく不当な事項があると認めるときは、指定管理者の財務及び営業又は事業の方針を決定する機関(以下「総会等」という。)並びに町長へ報告すること。
- (3) 前号の報告をするために必要があると認めるときは、指定管理者の総会等の招集を要求し、又はこれを招集すること。










附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成17年10月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則の施行の日の前日までに、合併前の北条町公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する規則(平成16年北条町規則第1号)の規定によりなされた処分、手続きその他の行為は、この規則の相当規定によりなされたものとみなす。

委員長	主 課	管 長	課 補	長 佐	係 長	回	議 案	査 査
								

資料No. 3

発北議第15号
平成24年2月29日

北栄町教育委員会

委員長 吉田助三郎 様

北栄町議会議長 青 亀 恵 一








一 般 質 問 に つ い て (通 知)

平成24年3月8日招集予定の本町議会定例会において、別紙の質問がされる予定ですので、あらかじめ通知いたします。



平成24年第1回北栄町議会定例会
一般質問 質問事項一覧

	質問者	質問事項	質問の相手
1	11番 前田正雄議員	農地の環境保全対策について	町長
		地域情報化の整備について	町長
		新しいがん検査について	町長
2	2番 飯田正征議員	まんが王国・国際まんが博・マンガサミットについて	町長
		地域防災について	町長 教育委員長
3	14番 阪本和俊議員	町長の行政執行はこのままでよいのか	町長 教育委員長
4	13番 石丸美嗣議員	同和対策事業の検証と対策	町長 教育委員長
		町内周回のバス運行を	町長
		町長の政治姿勢を問う	町長
5	5番 清水進一議員	本町及び近隣二町の財政分析について問う	町長
6	1番 奥田伸行議員	職員の能力開発について	町長
		新たな栽培方法と品種選定は自分たちの手で	町長
7	9番 池田捷昭議員	人権教育と同和対策事業について	町長
8	8番 浜本武代議員	婚活支援事業について	町長
		地域包括支援センターの役割は	町長
9	7番 津川俊仁議員	本町の子育ては	町長 教育委員長
		公営住宅のあり方は	町長
		農業振興の提案	町長
10	10番 長谷川昭二議員	第5期介護保険料の軽減対策について	町長
		社会体育施設の利用について	町長
	計10人	計20問	

議長	局長	局長補佐	係長	回議	主査
					

受付番号 61 番
平成 24年 2月 2日
午前 9時10分 受領

平成 24年 2月 2日

北栄町議会議長 青 亀 恵 一 様

北栄町議会議員 前 田 正 雄








一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
一、 農地の環境保全 対策について	<p>平成 19 年度から実施されてまいりました「農地・水保全管理支払交付金」（旧農地・水環境保全向上対策）は、本町においても平成 20 年度からこの事業を開始し 24 の組織が活動を実施してまいりました。この共同活動は 5 年間活動することが義務づけられており次年度が最終年度を迎えます。</p> <p>当初計画では平成 24 年度は交付金なしで活動を行うこととなっておりましたが、現時点では 2 期対策継続により引き続き 10 割の交付金が支給される模様のように、また平成 25 年度から平成 29 年度まで 5 年間、交付金 7.5 割での活動継続が実施される予定のようであります。</p> <p>このことは各組織とも願っていたことであり、本町の基幹産業は農業であると自負している町でもあります。ぜひ継続実施されたいと思っております。</p> <p>この事業は、農業資源の保全管理はもとより、子供たちや非農家の皆さんにも農地や水など、地域のかげがえのない資産であるという認識を深めることや、さらに、共同作業を行なっていくことにより地域のコミュニケーションを図る上にも最も画期的な取り組みであります。</p> <p>本町は、この事業をこれまで 4 年間取り組んできましたが、その成果と効果をどのように評価されているのか、また、今後どのように推進を図っていくのか、町長の所信を伺います。</p>	町 長

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>二. 地域情報化の整備について</p>	<p>本町では、地域情報通信基盤整備事業により、伝送路の整備が平成22年度北条地区の工事が完了し引き続き平成24年度には大栄地区も工事が着手されます。</p> <p>この事業の狙いは行政情報および地域情報等の提供を通じ、高度情報化社会に適應した住みよいまちづくりを推進するための事業であります。</p> <p>したがって、町民にとってこれまで以上に情報伝達サービスが向上しなければならないと思いますが、この事業のメリットについて、またデメリットはないのか伺いたい。</p> <p>また、大栄地区において現在使用している農業用多機能ファックスが使用できなくなり、利用頻度の高い農業者とJAとの通信機能や役場から住民の皆さんへの伝達機能を奪うこととなりますが、その対応をどのようにされるのか、以上の点について町長に伺います。</p>	<p>町長</p>
<p>三. 新しいがん検査について</p>	<p>今年1月、南部町（西伯病院）が新しいがん検査方法「アミノインデラックス」を導入されたことはすでにご承知のことと思います。</p> <p>この検査は少量の採血で、がんである、又はがんになる可能性、危険性を予測し、しかも複数のがんを同時に検査でき、リスクの判定後、疑いのあるがんに絞って精密検査を受けることで早期発見が期待できる画期的な検査方法のようであります。</p> <p>本町においても、がん検診の受診しやすい環境を整え受診率の向上を図るためにも早急に導入を検討されたいと考えますが、町長の所信を伺いたい。</p>	<p>町長</p>

議長	局長	副議長	係長	回議	主査
					

受付番号 62 番
平成24年 2月10日
午前 8時30分 受領

平成24年2月9日

北栄町議会議長 青 亀 恵 一 様

北栄町議会議員






飯 田 正 征



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。


質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
まんが王国・国際 まんが博・マンガ サミットについて	<p>鳥取県では、今年を「まんが王国とっとり」建国イヤーに位置づけている。</p> <p>鳥取県まんが王国とっとり推進室長は、新聞で「これまでは鳥取県を知ってもらうために、鳥取県出身の漫画家を活用し、まんが王国とつとりを掲げてきた。</p> <p>しかし、境港以外の地域は、王国になっていない。まんが王国とつとりを名乗るのにふさわしい、地域にする取り組みを充実していく」と言っている。</p> <p>北栄町では、どのように位置づけ、どのように取り組もうとしているのか伺います。</p> <p>鳥取県、東、中、西、北栄町で8～11月まで国際まんが博が開催され、11月7日～11日までマンガサミットが米子市をメイン会場として実施される。</p> <p>「名探偵コナンに会える町」北栄町を知ってもらい、地域の活性化に結びつける良いチャンスと考えますが、町はどのような施策を行おうとしているのか伺います。</p>	町 長
地域防災について	<p>昨年6月の定例議会において、国・県の防災計画の見直しがされてから、北栄町の計画を見直すとのことですが、どのように見直したのか伺います。</p> <p>また、防災計画の見直しについて、町民に、どのような方法で、周知徹底を図り、防災力を高めていくのか伺います。</p> <p>次に、保育所・小中学校での防災計画と、防災訓練の今後の取り組みについて伺います。</p>	町 長 教育委員長

議長	局長	副議長	係長	回議	主査
					

受付番号 63 番
 平成24年 2月13日
 午後 0時 27分 受領

平成24年 2月13日







北栄町議会議長 青亀恵一 様

北栄町議会議員 阪本和俊 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
町長の行政執行はこのままでよいのか。	<p>今までの反省や検証の上に事業執行しなければ、町民負担が増えるだけで地域住民の幸せにつながりません。</p> <p>風車の経営は、今後計画どおり進むとお考えでしょうか。</p> <p>議会提言の全町公園化まちづくりの検討をされない理由をお聞きしたい。</p> <p>また、北条小学校と幼保一元化の大事業は誰のためだったのか疑問を覚えます。</p> <p>行政の一方的な提案でなく、もっと前向きに他町の成功事例を参考にしながら、議会や教育委員会の意見を尊重して取り組むべきと考えますが、町長・教育委員長の御所見を伺います。</p>	町長 教育委員長


議長	局長	副議長	総務課長	民生課長	建設課長	主計
						

受付番号 64 番
 平成 24 年 2 月 17 日
 午後 8 時 30 分 受領

平成 24 年 2 月 16 日

北栄町議会議長 青亀 恵一 様






北栄町議会議員

石丸 美嗣 

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告いたします。

質 問 事 項		質問の相手
1. 同和対策事業の検証と対策	依然として同和対策事業の予算等は例年通りとする計上で、真の住民要望などを現地で聞こうとする姿勢が見られない。これでは本当の地に着いた政策は勧められない。町としてはアンケートによるデータに基づき政策を決定しようとしているが、事業の推進はますます遅れてくることになる。一部の役員の見解を聴くだけでなく、現地に密着した聞き取り調査を試みる必要があると思うが。	町 長 教育委員長
2. 町内周回のバス運行を	公共的な乗り物を定着させなければ、高齢者の交通手段は解消されない。他町の状況を検証し、タクシー乗車の割引券を計画するような安易な計画では利用者は限定されてくる。弱者のために何が必要か真剣に考え、首町の英断で町内を巡回する交通機関の導入を試験的にでもスタートさせては。	町 長
3. 町長の政治姿勢を問う	町長の任期中、今後2回の予算計上がなされるが、これまでの政策は住民福祉の向上に結びつく顕著な事業は見られなかった。 今後は町民のための生活向上にリーダーシップを発揮し、事業実績を残す努力をすべきと思うが。	町 長

議長	局長	庶務	係長	回議	主査
					

受付番号 65 番
 平成24年2月23日
 午前11時30分 受領

平成24年2月23日

北栄町議会議長 青亀恵一 様

北栄町議会議員 清水進一 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
本町及び近隣二町の財政分析について問う	<p>平成24年度の予算審議の本定例議会に、一点財政分析について町長に質問いたします。</p> <p>財政分析につきましては、既に財団法人鳥取県市町村振興協会の「鳥取県市町村要覧」の指示を受けております。その中で財政分析に関する諸々の係数やレーダーチャート等が数多く並んでいます。正直申しますと私自身、まして町民の皆様におきましても、いったいこの中の何が重要な要点なのか理解が困難であると言わざるを得ません。しかも、私どもが本当に知りたく、そして町民の皆様にも是非お知らせしたい係数は記載が漏れており、理解することが一層困難であります。</p> <p>町民の皆様には解り易く、財政分析について別紙の表を掲げました。重点、要点だけでも解り易く、ご説明頂きたく、その返答を求める次第です。</p>	町長

別紙

財政力指数

年度(H)	北栄町	(近隣)琴浦町	(近隣)湯梨浜町	県内市町村平均
20	0.370	0.377	0.306	0.386
21	0.362	0.373	0.301	0.373
22	0.343	0.365	0.291	0.355

経常収支比率

(単位:%)

年度(H)	北栄町	(近隣)琴浦町	(近隣)湯梨浜町	県内市町村平均
20	88.8	91.8	90.8	89.5
21	88.7	91.6	87.1	88.0
22	87.8	87.3	84.9	84.8

人口1人当たり人件費・物件費等決算額

(単位:円)

年度(H)	北栄町	(近隣)琴浦町	(近隣)湯梨浜町	県内市町村平均
19	133,997	144,040	129,075	117,003
20	123,745	141,127	127,870	115,572
21	131,775	159,123	129,138	120,858

人口1人当たり地方債残高

(単位:円)

年度(H)	北栄町	(近隣)琴浦町	(近隣)湯梨浜町	県内市町村平均
20	621,000	712,000	925,000	591,000
21	612,000	735,000	904,000	572,000
22	596,000	763,000	878,000	563,000

将来負担比率

(単位:%)

年度(H)	北栄町	(近隣)琴浦町	(近隣)湯梨浜町	県内市町村平均
20	205.3	194.7	168.3	130.7
21	196.6	180.8	144.1	111.9
22	156.0	160.5	114.5	93.9

実質公債費比率

(単位:%)

年度(H)	北栄町	(近隣)琴浦町	(近隣)湯梨浜町	県内市町村平均
20	21.2	17.8	18.4	19.1
21	22.4	17.0	18.1	18.4
22	21.6	16.4	17.8	17.2

人口1,000人当たり職員数






(単位:人)

年度(H)	北栄町	(近隣)琴浦町	(近隣)湯梨浜町	県内市町村平均
19	10.24	11.24	10.06	7.94
20	9.80	10.18	10.20	7.75
21	9.69	9.96	10.07	7.63

ラスパイルズ指数

年度(H)	北栄町	(近隣)琴浦町	(近隣)湯梨浜町	県内市町村平均
20	95.8	90.5	93.1	96.7
21	94.7	90.8	91.8	95.9
22	96.2	92.6	92.5	95.9

平成21・22・23年度 鳥取県市町村要覧から抜粋

議長	局長	副議長	係長	回議	主査
					

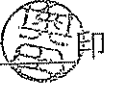
受付番号 66 番
平成24年2月23日
午後4時50分 受領

平成24年2月23日

北栄町議会議長 青亀恵一 様

北栄町議会議員






奥田伸行



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
職員の能力開発について	<p>今日の厳しい時代、自治体の政策能力によって地域格差が大きく変わる。</p> <p>今を生きる人たちが、豊かな心を持って笑顔あふれる町にするためには、町長の政策はもとより、職員が適材適所で、個々の能力を活かしきることが必要だと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の職員配置について、事務量や業務内容等適正に人員配置がされているか。 ・職員の能力をさらに伸ばすためには、職種に応じた職員一人一人の研修マニュアルが必要ではないか。 ・業績に応じた特別ボーナスの支給をすることは当然だと考える。 <p>町長の所見を伺う。</p>	町長
新たな栽培方法と品種選定は自分たちの手で	<p>現在、「現地課題チャレンジ試験補助金事業」という事で、県の普及所などで充分に対応できない小規模な試験栽培や、加工品の施策を行うために農業指導者連絡協議会に補助金が出ています。</p> <p>新しい栽培方法の選択や品種選定、試験栽培に挑戦するための後押しとしての事業だと思います。この事業を手厚くすることで、普及所や園芸試験場に頼るばかりでなく、自分たちの手で名産品を生み出していくという想いにつながるのではないのでしょうか。</p> <p>また、挑戦出来る環境を町が支援するような考えは。</p> <p>町長の所見を伺う。</p>	町長

議長	局長	局長補佐	係長	回議	主査
					

受付番号 67 番
 平成 24 年 2 月 24 日
 午後 1 時 50 分 受領

平成 24 年 2 月 24 日

北栄町議会議長 青亀恵一様

北栄町議会議員 池田捷昭 

一般質問通告書






次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
人権教育と同和対策事業について	<p>国は昭和 40 年「同和対策審議会答申」を受け、部落差別をはじめとするあらゆる差別の根本的かつ速やかな解決を図るため「同和対策事業特別措置法」を制定しました。そして、平成 14 年 3 月末に法律が失効するまで、33 年間にわたり各種施策(生活改善、社会福祉の充実、産業の振興、職業の安定、教育の向上、人権擁護等)を総合的かつ計画的に推進し、実施してきました。</p> <p>また、本町においても少しずつの見直しを経て事業が継続され現在に至っており、昨年度は同事業に対し約 4900 万円の事業費が支出されています。</p> <p>その結果、客観的指標から見ても本町の地区、地区外を問わず、生活環境をはじめとした格差はなくなり目的を達成した状況にあると考えます。</p> <p>しかし、この補助事業がいろいろな問題をもたらしてもいます。平成 21 年度決算不認定に見られる会計諸帳簿の未整備と行政指導の不手際、そして本年度の生活相談員も決まらぬままなど、行政がほとんど機能していません。</p> <p>そんな中、地区内の方には、「いつまでも補助金に頼って事業をするのではなく、自分たちが自立しなければ」との前向きな意見を聞きます。行政はこのような意見を取り上げるべきです。</p> <p>同和対策事業が一般施策といわれながら、なぜ地区に限定されるのでしょうか。</p> <p>文化活動は町の公民館活動の中で十分出来ます。他の部落が作品展等自主的に取り組まれているように、解放文化祭も部落で自主的に行われるべきです。生活相談員についても、町のいろいろな相談制度を活用できるはずです。</p> <p>一方、厳しい社会状況の中で本町全体に低所得者が増えており、いつまでも地区に限定した平等性を欠く施策はすべきではありません。厳しい財政状況の中、行革視点からも事業の見直しは避け</p>	町長

ては通れません。

人権教育は今後も本町の重要事業であります。しかし、人権教育と同和対策事業とは切り離す時期にきていると私は考えます。平成 24 年度当初にアンケートによる意識調査を実施し町民の意識を把握されるとのことですが、その際には同和対策事業の詳細を盛り込んだ上でアンケートされることを要望しておきます。


以上のような観点から、同和対策事業について松本町長の任期中に計画的に終結されてはと考えますが、如何でしょうか。

議長	局長	副	係長	回議	主査
					

受付番号 68 番
平成24年 2月24日
午後 4時51分 受領

平成24年2月24日






北栄町議会議長 青亀恵一 様

北栄町議会議員 浜本武代  印

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
婚活支援事業について	<p>平成23年11月8日の事業仕分けにおいて、「婚活支援事業」が「不要」という結果がでました。北栄町にも未婚化、晩婚化が進む現状の中で、今後、行政はどのように取り組んでいかれるのか、町長に伺います。</p>	町 長
地域包括支援センターの役割は	<p>北栄町では高齢化が進み、26.4%（約4人に1人）が65歳以上の高齢者となっています。また、要介護（要支援）の認定率は国・県平均より高い20.4%が現状です。</p> <p>今年4月から国は介護保険の運営を変え「施設から在宅へ」そして、看護・介護・予防・生活支援などのサービスを使って入院せず住みなれた家庭や地域で、できる限り自立し安心して生活できることをめざすとしています。この目標に向かって、地域包括支援センターの役割がますます大きくなっていきます。</p> <p>町民（特に高齢者）への啓発、指導事業をどのようにしていかれるのか伺います。</p>	町 長

議長	局長	局長補佐	係長	回議	主査
					

受付番号 69 番
平成 24 年 2 月 27 日
午前 8 時 30 分 受領

平成 24 年 2 月 26 日

北栄町議会議長 青亀 恵一 様

北栄町議会議員 津川俊仁  印

一 般 質 問 通 告 書



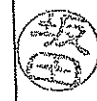


次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
本町の子育ては	<p>いよいよ 24 年度から認定子ども園が開所し、栄保育所は社会福祉協議会へ移管され、新たな北栄町の保育体制がスタートする。今後は「子育てするなら北栄町」の言葉通りの体制になるのか。保護者や子どもたちにとって魅力ある保育をするためにはどうするのか。大いに期待し、以下の点について伺いたい。</p> <p>1 栄保育所は、来年度 3 歳児以下の幼児 8 人でのスタートということだが、他園との違い・魅力は。保育部門における具体的ビジョンを示してほしい。</p> <p>2 認定子ども園ではだれが責任者になり、所轄部署は教育委員会か町長部局か。その体制は。</p> <p>3 大誠こども園では、年長組が 35 人なのにクラス分けをしないとの事だが、最適な保育は担保されるのか。</p>	町長 教育委員長
公営住宅のあり方は	<p>町内にある公営住宅について、昨年質問において、24 年度には今後の方針を出すとの事であったが、5 年後・10 年後の方針を伺いたい。</p> <p>1、県営住宅は、建築されてから 10 年で入居者への払い下げ等の選択が迫られているが、栄第一団地では買い取契約はなされていないとの事。今後の町の対応は。(このままでは新規入居者の募集が出来ない)</p> <p>2、町内にある老朽化した町営住宅は今後どうする。建て替えるのか、払い下げをするのか、改修するのか。今後本町に何戸の公営住宅を確保するのか。</p>	町長
農業振興の提案	<p>これまで、町としての様々な農業支援がなされてきた。今後さらに踏み込んだ農業振興をするなら、販売支援・販売対策が必要だと思う。</p> <p>本来販売は、JAが行っているが、系統市場販売</p>	町長

と並行してお台場市場や 9 か所ある直売所を利用した、少量多品目販売が大きな販売の柱にもなってきている。

そこで、本町でも販売支援として、販売担当課(室)・担当職員を配置し、インターネット販売、産直販売直売等を手掛けてはどうか。すぐに出来ないのであれば、JAや、大手スーパーへ職員を派遣し販売の勉強をさせるなどの取り組みをしてはどうか。

目標は販売高の増加による農家の所得向上。ゴールは、担当職員の給料を税収で確保。農業の町を自負するなら、町自らが町内産農畜産物の販売まで手掛けることが必要であり、そのことが加工含めた6次産業の育成にもつながると思うが、伺いたい。

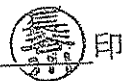
議長	局長	局長補佐	係長	回議	主査
					

受付番号 70 番
平成24年 2月27日
午前 8時31分 受領

平成24年 2月27日

北栄町議会議長 青亀 恵一 様

北栄町議会議員 長谷川 昭二



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
第5期介護保険料の軽減対策について	<p>①第5期介護保険料の上昇緩和策として財政安定化基金の取り崩しが予定されているが、市町村からの拠出金は、全額が高齢者の保険料であり、町の拠出金取り崩しとともに、国と県の分も保険料軽減のために取り崩すよう求めることについて。</p> <p>②一般会計からの繰り入れなど町独自の保険料、利用料の軽減制度の充実をはかることについて。</p> <p>③介護保険料の高騰を抑えるため、国庫負担増による特別対策を国に求めることについて。</p>	町長
社会体育施設の利用について	<p>①町民全体の社会体育の増進をはかる体育施設を利用しやすくするために受付窓口を広げることについて。</p> <p>②利用料金の格差について。</p>	町長